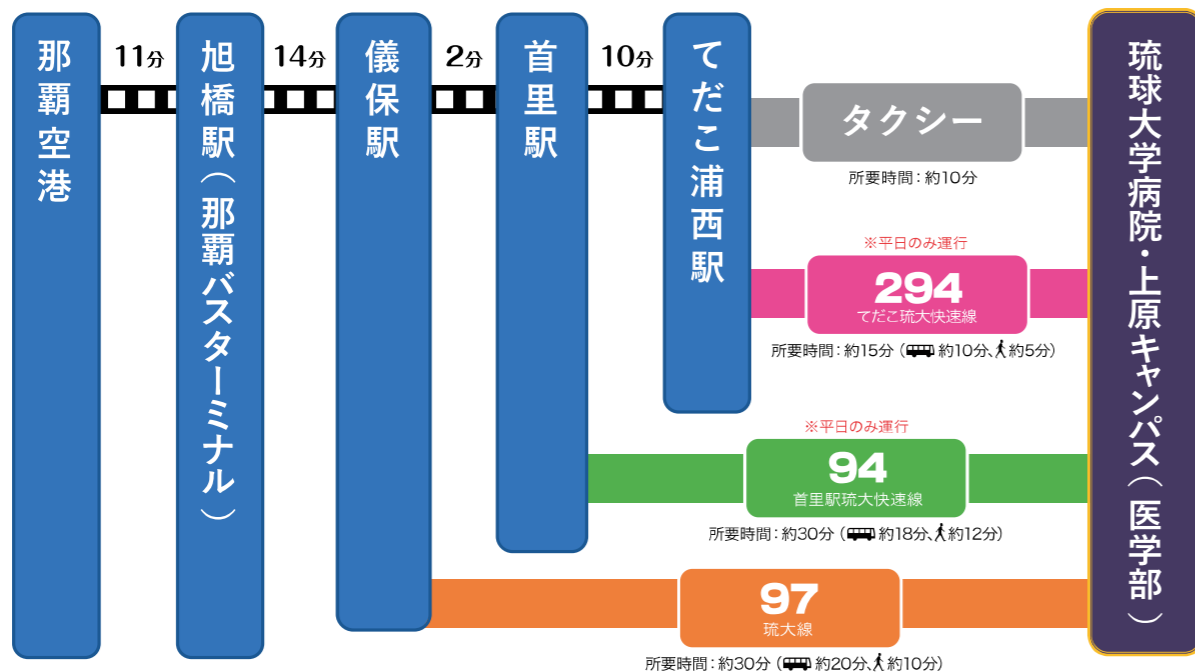


アクセス

那覇空港からモノレール



那覇空港から

【タクシー】 所要時間: 約35分

那覇空港 → 沖縄自動車道 (西原IC) → 琉球大学医学部・病院

那覇空港 → 那覇うみそらトンネル → 国道330号 → 琉球大学医学部・病院

那覇バスターミナルから

【路線バス】 所要時間: 約50分

那覇バス97番 (琉大線)

のりば: 那覇バスターミナル (那覇市泉崎) 8番のりば

(経由) バスターミナル (泉崎) → 国際通り (牧志) → 儀保 (首里) → 琉球大学病院前



琉球大学

〒903-0215
沖縄県中頭郡西原町字上原207番地
TEL: 098-895-3331 (代)
<https://www.med.u-ryukyu.ac.jp/>



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS
GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE,
GRADUATE SCHOOL OF HEALTH SCIENCES,
FACULTY OF MEDICINE
SCHOOL OF MEDICINE, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES
GUIDE BOOK 2023

2023 概要

琉球大学

大学院 / 医学研究科・保健学研究科
医学部 / 医学科・保健学科

南に開かれた国際性豊かな医学部



大学院医学研究科長・医学部長
筒井 正人
Dean,
TSUTSUI Masato, M.D, Ph.D.

本学部の基本理念

FOUNDING CONCEPT OF THE FACULTY

琉球大学医学部は、医学と保健学に関する専門の知識と技術を修得し、高い倫理性を身につけ、医学・医療の進歩や社会的課題に柔軟に対応しうる医師、保健・医療従事者を育成することを基本目的としています。

加えて、沖縄県の置かれた自然、地理及び歴史的特性をふまえ、島嶼環境に由来する困難な地域保健医療の充実や地域特性に根ざした医学・医療の課題解決に努めると共に、アジア・南太平洋地域を中心とする南に開かれた国際性豊かな医学部を目指しています。

The essential purpose of the Faculty of Medicine is to nurture physicians and medical science specialists who are willing to develop their specialized knowledge and skills with high ethical standards in professional research areas, and to carry out the research in all fields of medicine and medical science by responding adequately to the latest progress and social problems.

In addition, the Faculty is obligated to improve medical care in the local community, to resolve medical and health care problems, and to extend its promotional activities to countries in the Asian and Pacific regions based on recognition of the natural environmental conditions, geographic location and historical situation in the Ryukyu Islands.

目次

本学部の基本理念	02	8. 附属施設	28
アドミッションポリシー	04	LABORATORY CENTERS	
医学部・大学病院移転事業	06	9. 学生の定員・現員及び入学状況	30
		QUOTA AND ADMISSION OF STUDENTS	
1. 沿革	08	10. 卒後の主な就職先	31
HISTORY		MAIN PLACES OF EMPLOYMENT	
2. 歴代学部長・研究科長	12	11. 解剖体	32
SUCCESSIVE DEANS		AUTOPSIES FOR GROSS ANATOMY	
3. 教育・研究の特色	13	12. 図書・学術雑誌	32
EDUCATION, RESEARCH		COLLECTION OF BOOKS AND JOURNALS	
4. 社会貢献・国際交流	20	13. 各講座等主要研究	33
SOCIAL CONTRIBUTIONS AND INTERNATIONAL EXCHANGE		OUTLINE OF MAIN RESEARCH PROJECTS	
5. 組織図	22	14. 土地・建物、建物配置図	38
ORGANIZATION CHART		CAMPUS AND BUILDINGS	
6. 職員	24		
ACADEMIC AND ADMINISTRATIVE STAFFS			
7. 講座及び分野配置図	27		
DEPARTMENTS AND SUBJECTS MAP			

医学科・大学院医学研究科



医学科 School of Medicine

医学科は、以下の資質を備えている人を求めています。

【一般選抜】

- 地域医療に貢献するための県民・地域住民意識をもてる人
- 生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人
- 責任感が強く、人の身になって考え、行動できる人
- 常に自己点検を行い、自己啓発ができる人
- 創造性に富み、物事を理論的に整理・展開できる人
- 医学を学ぶ基礎学力を有する人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶことができる人

【学校推薦型選抜】(大学入学共通テストを課す)(地域枠、離島・北部枠)

- 沖縄県の地域医療に貢献するための県民・地域住民意識をもてる人
- 地域の要請が高い診療科を選択し、診療科偏在の是正に貢献できる人
- 生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人
- 自分の置かれた社会的・地域的立場をしっかりと意識できる人
- 学習意欲の維持並びに自己学習ができる人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶことができる人

大学院医学研究科 Graduate School of Medicine

医科学

(修士課程)

1. 各々の専門分野での経験・知識・技術を活かして、生命医療科学・医療福祉の分野の研究の発展に寄与し、社会に貢献したいと考える人
2. 医療の専門性を理解し、高度医療職業人として地域特性に対応した医療と福祉に従事することを旨とする人
3. 修士課程での研究を基に、さらに博士課程への進学を志す人

医学

(博士課程)

1. 生命医療科学における次世代のリーダーを目指して深い学識と先駆的な研究能力を培い、国際的な場で活躍する研究者・教育者を志す人
2. 先端的医療を実践するために高度な知識や技術を身に付け、研究マインドを備え、高度専門職業人として地域の医学・医療水準の向上のために指導的な役割を担える臨床医を目指す人

保健学科・大学院保健学研究科



保健学科 School of Health Sciences

本学科は看護、臨床検査、国際・地域保健等の分野でリーダーシップを発揮し、活躍できる人材の育成を目指します。そのため、以下の資質を備えている人を求めています。

- 生命科学、保健・医療・福祉に強い興味と関心を持ち、主体的に学ぶ意欲のある人
- 生命を尊重し、相手の身になって行動できる人
- 自らの目標に向かって自己啓発し、多様な人々と協働ができる人
- 論理的に物事を考え、科学的に解決する意欲のある人

大学院保健学研究科 Graduate School of Health Sciences

(博士前期課程・博士後期課程共通)

心身ともに豊かな健康・長寿に資する高度な研究能力を有し、多くの人々の疾病予防と健康増進及び健康資源の解明に貢献する研究マインドをもった研究者及び指導者、そして高度専門職業人として、国内外で活躍することを志す人を求めています。

(博士前期課程)

1. 広い視野に立った研究能力を有する保健学分野の教育・研究者及び指導者を目指す人
2. 保健学分野の高度な専門的知識と技術をさらに深く学ぼうとする人
3. 専門的な知識や技術を活かして、地域及び国際社会に貢献したい人
4. 保健学分野の高度専門職業人を目指す人 例：専門看護師、養護教諭(専修免許)、研究開発能力を有する臨床検査技師

(博士後期課程)

1. 沖縄の豊かな島嶼、海洋性、亜熱帯自然環境及び社会環境を基盤とする卓越した保健学研究を目指す人
2. 健康・長寿の維持増進及び再生や健康資源の開発に関する卓越した研究を目指す人
3. アジア太平洋諸国との国際学術交流を図り、島嶼国際保健に関する卓越した研究を目指す人

医学部・大学病院 移転事業

琉球大学医学部及び病院は、沖縄健康医療拠点の中核として、令和6年度にキャンブ瑞慶覧（西普天間住宅地区跡地）に移転します。医学部及び病院では、“国際化”、“人材育成”、“先端研究・産業振興”、“医療水準の向上”を移転構想の柱とし、沖縄振興や長寿県沖縄の復活、国際保健（グローバル・ヘルス）への貢献を目指しています。また、この計画は、駐留軍用地跡地利用の先行モデルとして注目されています。



完成イメージ図



※イメージは設計段階でのものであり、今後の進捗により変更になる可能性があります。



※幹線道路側から見た移転予定地（令和5年4月現在）

移転構想

国際化

～未来を拓く国際性豊かな医療拠点～

国際水準の教育と医療の実現、また研究体制の構築に向け、国際医療拠点に相応しい機能と設備の整備を進めます。

- 医学部と大学病院の国際認証の取得
- 国内外の大学、医療機関、企業等との積極的な連携
- 国際医療拠点に相応しい病院環境の整備
- 保育園、授乳室、障がい者対応施設等のダイバーシティ（多様性）に対応したアメニティの充実

先端研究・産業振興

～世界に誇れる医学研究拠点の形成と産業振興～

沖縄特有の環境や資源を活かしつつ、最先端分野の研究の充実を図るとともに、人材が集まる組織の枠を超えた研究組織の構築を目指します。

- 先端医学研究センターを中心とした創薬等の最先端分野の研究
- 医工連携による医療機器等の開発
- 国、企業、近隣大学、研究機関から優秀な人材が集まる仕組みの構築
- 産業振興による地域の活性化
- 国内・国際学会開催による来訪者の増加

人材育成

～国際的な医療人材の育成と交流拠点の形成～

ニーズに柔軟に対応でき、また国際的に通用する教育システムの構築を進めるとともに、国内外大学等との連携体制の強化を図ります。

- グローバルな視野を持った医療者、医学研究者の育成
- 研究マインドを身に付けさせるための学部段階からの研究室配属
- 看護部と保健学科の連携による高度実践看護師の育成
- 海外大学と連携したクリニカルクラークシップ（臨床参加型実習）の充実
- 大学病院内における教育スペースの確保

医療水準の向上

～高度医療の提供による拠点形成～

中核病院としてがんや救急医療、また移植医療等への対応強化を図るとともに、災害対応や遠隔診療等の更なる充実により医療水準の向上を目指します。

- 化学療法や放射線治療分野の充実によるがん治療成績の向上
- 高度救命救急センターの設置
- 生体肝移植等の移植医療の充実
- 先進的医療に対応した手術室の充実
- 日帰り手術、光学診療等の充実による低侵襲治療の推進
- 沖縄県地域医療支援センターを拠点とした離島・へき地医療の充実



新キャンパス予定地

現キャンパス

沖縄健康医療推進基金のご協力をお願い

詳しくはこちら！

移転に先立ち、学生及び皆様へ、より快適で安全な医学教育・研究・診療環境を提供するために、沖縄健康医療推進基金を設立しました。皆様のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



昭和44年

保健学部校舎
(那覇市与儀)



昭和48年

保健学部及び附属病院
の鳥瞰図
(那覇市与儀)



昭和54年

医学部の設置



昭和55年

与儀キャンパス
医学部校舎(旧保健
学部校舎)及び医学
部附属病院



昭和40年8月	佐藤栄作総理大臣が来沖し「琉球大学に医学部を設置する」との声明がなされた。
12月 December,1965	琉球政府内に琉球大学医学部設置構想委員会が設置された。 The Committee for Planning the Faculty of Medicine, University of the Ryukyus, was organized by the Government of the Ryukyu Islands.
昭和41年7月	第一次琉球大学医学部設置調査団が来沖し、「医療の基礎的条件を整備するための基本的態度と医療要員の要請に関する準備的措置要領」が発表された。
11月	第二次調査団が来沖し、次の4原則が確立された。 1. 県立中部病院をインターン指導の教育病院とする。 2. 琉球大学に保健学部を新設する。 3. 那覇病院を改築し、教育病院とする。 4. 公衆衛生の施策を強化する。
November,1966	The Japanese Government investigation committee for establishment of the Faculty of Medicine, University of the Ryukyus, visited Okinawa and made the following four announcements: 1. A postgraduate medical education program will be established at the Okinawa Chubu Hospital. 2. A Faculty of Health Sciences will be newly founded in the University of the Ryukyus. 3. Naha Hospital will be renovated for adapting the postgraduate medical education program. 4. Public health programs will be facilitated.
昭和42年1月	琉球政府は、行政主席の諮問機関として、琉球大学医学部設置準備委員会を設置し、教育機能と地域医療機能を併有する新病院建設基本構想を検討した。
5月	本土側施設整備専門部会と沖縄側専門委員会が新那覇病院建設計画について討議し、将来は、医学部教育病院としての機能をもち、当面は保健学部の実習も兼ねた総合病院とすることになった。
昭和43年5月 May,1968	琉球大学設置法の一部改正により保健学部(定員数60名)が設置された。 The Faculty of Health Sciences was founded by the Government of the Ryukyu Islands (Enrollment quota was 60 students), based on a royal revision of the act for incorporating the University of the Ryukyus.
昭和44年4月 April,1969	保健学部の第一期生59名が入学した。 Fifty-nine students enrolled for the first term in the Faculty of Health Sciences.

昭和45年6月	琉球大学設置法の一部改正により新那覇病院は琉球大学附属病院となった。
昭和47年5月 May,1972	本土復帰に伴い琉球大学附属病院は、琉球大学保健学部附属病院となった。 The Hospital of the University of the Ryukyus was reorganized into the Hospital of the Faculty of Health Sciences, University of the Ryukyus, when the administration of Ryukyu was returned to Japan from the U.S. government.
昭和49年11月	地域医療部、救急部、理学療法部が随時設置され、総合病院として承認された。
昭和50年3月	臨床研修指定病院となった。
昭和52年4月 April,1977	琉球大学医学部創設準備室が設置された。 The Preparatory Section for the Faculty of Medicine, University of the Ryukyus was launched.
12月	沖縄県解剖体確保推進協議会が結成された。
昭和53年10月	解剖体保存棟が保健学部敷地内に完成した。
昭和54年1月	医学部の昭和54年10月設置、昭和56年4月学生受け入れが内定した。
2月	沖縄県は献体組織“琉球大学でいご会”を結成した。
3月	沖縄県は、財団法人琉球大学医学部設置協力を設置した。 国立学校設置法の一部改正により昭和54年10月琉球大学医学部が設置された。(医学科31講座) また、昭和56年4月学生受け入れ(定員数医学科100名、保健学科60名)が決定した。
昭和55年8月	本学の関連教育病院(県立中部病院)について本学学長と沖縄県知事の間で協定を締結した。
10月	大学設置審議会大学設置分科会(浅田敏雄主査他4名)による医学科実施調査が行われた。
昭和56年3月	第1回医学部解剖体慰霊祭が解剖体保存棟前で行われた。

昭和56年4月 April,1981	保健学部が医学部保健学科に改組。保健学部附属病院は医学部附属病院となった。 The Faculty of Health Sciences, University of the Ryukyus, and its Hospital were reorganized into the School of Health Sciences, Faculty of Medicine, and Hospital of the Faculty of Medicine, University of the Ryukyus.
4月	医学部医学科31講座のうち8講座(解剖学第一、生理学第一、生化学第一、病理学第一、寄生虫学、内科学第一、外科学第一、眼科学)が先行設置され、保健学科は4大講座(基礎保健学、保健管理学、保健医療学、保健技術学)に再編成された。
4月	昭和56年度入学式(医学科100名、保健学科59名)が行われた。
April,1981	Students (100 medical and 59 health sciences students) were enrolled for the first term at the newly established Faculty of Medicine.
10月	医学部開学記念式典並びに祝賀会が開催された。
昭和57年4月	医学科に7講座(解剖学第二、薬理学、法医学、内科学第二、小児科学、放射線医学、整形外科学)が設置され、計15講座となった。
10月	基礎講義実習棟、解剖法医棟及びポンプ室が竣工した。
12月	解剖学、生理学、生化学の講義及び実習が上原団地で開始された。
昭和58年2月	基礎研究棟及び保健学科棟が竣工した。
3月	保健学科及び医学科基礎系講座が上原団地へ移転した。福利棟(がじゅまる会館)が竣工した。
4月	医学科に7講座(生理学第二、細菌学、保健医学、皮膚科学、外科学第二、産科婦人科学、耳鼻咽喉科学)が設置され、計22講座となった。
10月	R I・動物実験施設が竣工した。
12月	臨床講義棟、附属病院、中央設備機械室が竣工した。
昭和59年1月	臨床研究棟が竣工した。

昭和59年3月	授乳施設、管理棟、附属図書館医学部分館、高エネルギー・高気圧治療施設棟が竣工した。
4月	医学科に6講座(病理学第二、ウイルス学、内科学第三、脳神経外科学、泌尿器科学、麻酔科学)が設置され、計28講座となった。医学部及び附属病院の事務部が一元化され医学部事務部となったことに伴い、事務組織が改編され事務部長、事務部次長、4課制(総務課、管理課、学務課、医事課)となった。
7月	7月1日～10月14日、新病院移転・開院準備のため休診となった。 7月1日～8月2日、附属病院が上原団地へ移転した。医学部施設竣工並びに医学部附属病院の開院記念式典が挙行された。
10月	医学部附属病院(400床)の完成に伴い、診療を再開した。
昭和60年3月	体育館、多目的運動場が竣工した。
4月	医学科に3講座(生化学第二、精神神経科学、歯科口腔外科学)が設置され、計31講座となった。附属病院に第三内科が新設され、計17診療科となった。附属病院の病床数が200床増床され、計600床となった。
6～7月	附属病院の200床増床に伴い、病棟移転が行われた。
昭和61年4月 April,1986	琉球大学大学院保健学研究科(保健学専攻、修士課程)が設置された。(定員10名) The Graduate School of Health Sciences (Master's degree program) was founded. (Enrollment quota was 10 students)
4月	保健学科の入学定員が臨時的に5名増員され、計65名となった。附属病院に高気圧治療部が設置された。
昭和62年3月	R I診療棟が竣工した。

昭和57年

建設中の医学部及び
附属病院
(西原町上原)



昭和58年

医学部及び附属病院の
全景
(西原町上原)



平成6年

旧与儀キャンパス跡の
記念碑建立
(那覇市与儀)



昭和62年4月 April,1987	琉球大学大学院医学研究科(博士課程)(形態機能系専攻、生体制御系専攻、環境生態系専攻)が設置された。(定員数30名) The Graduate School of Medicine (Doctoral degree program) was founded. (Enrollment quota was 30 students)
7月	タイ国のチェンマイ大学と学術交流協定を締結した。
昭和63年4月 April,1988	附属地域医療研究センターが設置された。(10年期限) The Research Center of Comprehensive Medicine was founded in this decade.
平成元年3月	リニアク診療施設棟が竣工した。
5月	附属病院に輸血部が設置された。
平成2年3月	附属地域医療研究センター棟が竣工した。
6月	医学部に臨床検査医学講座が新設され、計32講座となった。
11月	医学部開学10周年記念式典が行われた。
平成3年3月 March,1991	MRI-CT装置棟が竣工した。 精神病棟(40床)が承認された。(一般病床から精神病棟へ) 中華人民共和国の中山医科大学と学術交流協定を締結した。 附属実験実習機器センターが設置された。 The Research Laboratory Center was founded.
4月	医学部医学部に3学期制が導入された。
平成5年4月 April,1993	附属動物実験施設が設置された。 Institute for Animal Research was founded.
5月	英国医学協会(GMC)より海外有資格医師の限定登録の認可を受けた。
12月	高嶺徳明顕彰碑が建立された。
平成6年8月	特定機能病院として承認された。
平成7年4月	附属病院に血液浄化療法部が設置された。
平成9年4月	附属病院に医療情報部が設置された。

平成10年3月	附属地域医療研究センターが廃止された。
4月 April,1998	附属沖縄・アジア医学研究センターが設置された。 The Okinawa-Asia Research Center of Medical Sciences was founded.
平成11年4月	附属病院に周産母子センターが設置された。 医学科の入学定員が95名となった。
平成12年4月	附属病院に病理部が設置された。 保健学科の入学定員の臨時募集が廃止され、計60名となった。
平成13年4月	医学科に臨床薬理学講座が新設され、計33講座となった。 附属病院に光学医療診療部が設置された。 医学科に第3年次特別編入学(学士入学)制度が導入された。(定員数5名) 中国の広西医科大学と部局間交流協定を締結した。
平成14年4月	医学科に救急医学講座が新設され、計34講座となった。
平成15年3月	附属沖縄・アジア医学研究センターが廃止された。 理学療法部が廃止された。
4月	医学科は34小講座が6大講座(形態機能医科学、地域環境医科学、病態解析医科学、生体制御医科学、器官病態医科学、高次機能医科学)に、保健学科は4大講座が6講座(基礎看護学、成人・老年看護学、母子看護学、地域看護学、生体検査学、病態検査学)にそれぞれ再編成された。 大学院医学研究科の3専攻が改組され医科学専攻(先進情報医科学領域、機能再生医科学領域、環境長寿医科学領域)及び感染制御医科学専攻(独立専攻)(感染分子生物学講座、分子感染制御学講座、感染病態制御学講座)が設置された。 リハビリテーション部が設置された。
平成16年4月	琉球大学は国立大学から国立大学法人へとなった。 大学院医学研究科修士課程医科学専攻が設置された。
April,2004	The University of the Ryukyus was reorganized by the National University Corporation from the National Universities. The Graduate School of Medicine (Master's degree program) was founded.
平成17年4月	事務組織が改編され、事務部長、経営企画課、5課制(総務課、経営企画課、経営管理課、医療支援課、学務課)となった。

平成18年2月	リハビリテーションセンター(作業療法棟)が竣工した。
10月	大韓民国の延世大学校と部局間国際交流協定を締結した。モンゴルのモンゴル保健総合大学と部局間国際交流協定を締結した。南アフリカ共和国のケープタウン大学と部局間国際交流協定を締結した。
平成19年3月	附属病院がエイズ診療拠点病院に指定された。
4月 April,2007	大学院保健学研究科が改編され、修士課程が博士前期課程に、博士後期課程が新たに設置された。 The Graduate School of Health Sciences (Doctoral degree program) was founded.
平成20年2月	附属病院が都道府県がん診療連携拠点病院に指定された。
4月	事務組織が改編され、医学部事務部、附属病院事務部(事務部長、課制(総務課、経営企画課、経営管理課、医療支援課))となった。
平成21年4月	医学科に第2年次特別編入学(学士入学)制度が導入された。(定員数5名)医学科の入学定員が7名増員され(内2名は9年期限)、計102名となった。
11月	附属病院が沖縄県肝疾患診療連携拠点病院に指定された。
平成22年4月	大学院医学研究科が大学院講座化(部局化)され、医科学専攻(3コース、33講座)、感染制御医科学専攻(1コース、8講座)に再編された。 医学科の第3年次特別編入が廃止された。 医学科の入学定員が5名増員され、計107名となった。 附属病院に骨髄移植センターの設置が認可された。
平成23年1月	附属病院に寄附講座(地域医療システム学講座、地域医療教育開発講座)が設置された。
4月	事務組織が改編され、事務部長5課制(総務課、経営企画課、経営管理課、医療支援課、学務課)となった。
12月	卒後臨床研修センター・血液浄化療法部棟が竣工した。
平成24年3月	おきなわクリニカルシミュレーションセンターが竣工した。
4月	病理診断科が設置された。
平成25年2月	機能画像診断センターが竣工した。

平成26年2月	台湾の台北医学大学と部局間交流協定を締結した。
3月	フィリピン共和国のフィリピン大学公衆衛生校と部局間交流協定を締結した。
4月	大学院医学研究科博士課程の2専攻を改組し、医学専攻が設置された。(定員数30名)
10月	ラオス人民民主共和国のラオス保健科学大学と部局間交流協定を締結した。
11月	救急災害医療棟が竣工した。
12月	沖縄県地域医療支援センターが設置された。
平成27年2月	附属病院に救急科が設置された。
3月	附属病院に形成外科が設置された。
4月	医学科の入学定員が5名増員され、計112人となった。 大学院医学研究科にウイルス学講座、臨床研究教育管理学講座が新設され、計42講座となった。 再生医療研究センターが設置された。 附属病院の検査部と輸血部が統合され、検査・輸血部が設置された。
平成28年4月	附属病院にリハビリテーション科が設置された。
8月	臨床工芸室が設置された。
10月	在宅医療推進センターが設置された。
平成29年9月	超音波センターが設置された。 シンガポール共和国の南洋理工大学と部局間交流協定を締結した。
平成30年4月	形成外科学講座が新設された。 インドネシア共和国のアイランガ大学と部局間交流協定を締結した。 インドネシア共和国の高麗大学と部局間交流協定を締結した。
11月	医学教育分野別認証評価認定を受けた。
令和2年4月	事務組織が改編され、上原キャンパス事務部(事務部長、総務課、企画課、管理課、医事課、学務課)となった。
令和3年9月	インドネシア共和国のマタラム大学と部局間交流協定を締結した。

保健学部長

松林久吉(初代保健学部長)	昭和	45年	9月
松崎吉彦	昭和	48年	9月
西山勇	昭和	50年	9月
杉浦正輝	昭和	52年	9月
照屋寛善	昭和	54年	9月

医学部長

大鶴正満(初代医学部長)	昭和	54年	10月
永盛肇	昭和	62年	4月
大澤炯	平成	3年	4月
茨木邦夫	平成	5年	4月
平山清武	平成	9年	4月
柗山幸志郎	平成	10年	4月
岩政輝男	平成	12年	4月
坂梨又郎	平成	16年	4月
佐藤良也	平成	20年	4月
須加原一博	平成	23年	4月
松下正之	平成	25年	4月
石田肇	平成	29年	4月
筒井正人	令和	3年	4月

大学院保健学研究科長

大鶴正満(初代大学院保健学研究科長)	昭和	61年	4月
竹中静廣	昭和	62年	4月
石津宏	平成	元年	4月
竹中静廣	平成	3年	4月
宮城一郎	平成	4年	4月
普天間弘	平成	6年	4月
崎原盛造	平成	7年	4月
石津宏	平成	10年	4月
河野伸造	平成	12年	4月
外間登美子	平成	16年	4月
高倉実	平成	22年	4月
福島卓也	平成	26年	4月
小林潤	令和	2年	4月

大学院医学研究科長

佐藤良也(初代大学院医学研究科長)	平成	22年	4月
須加原一博	平成	23年	4月
松下正之	平成	25年	4月
石田肇	平成	29年	4月
筒井正人	令和	3年	4月

琉球大学医学部は、日本で最も新しい国立大学医学部として1981年(昭和56年)に設立されました。医学部には医学科と保健学科が、大学院には医学研究科(修士・博士課程)と保健学研究科(博士前期・後期課程)が置かれています。医学科は、2010年(平成22年)に大学院講座化されました。

琉球大学医学部と琉球大学病院は2025年(令和7年)初頭に宜野湾市西普天間地区に移転する予定です。移転の目的は、新キャンパスに「沖縄健康医療拠点」を形成し、沖縄県の健康長寿の復活と産業振興を図ることです。①高度医療・研究機能の拡充、②地域医療水準の向上、③国際研究交流、医療人材育成を3つの柱とした構想が国主導で進められています。

教育



本医学部では、医学と保健学に関する専門の知識と技術を修得し、高い倫理性を身につけ、近年の医学・医療の急速な進歩や社会的課題に柔軟に対応できる医師、保健医療従事者、および研究者を育成しています。また、島嶼県沖縄における地域完結型医療に貢献出来る人材を養成するために離島やへき地における病院実習を科目に設け、国際医療の場でリーダーシップを発揮できる人材を養成するために海外で臨床実習や医科学研究を行えるようにしています。このような本医学科の医学教育プログラムは、2018年、日本医学教育評価機構(JACME)から評価基準に適合していると認定されました。大学院では、近年の医学・保健学のダイナミックな変化に対応できる次世代を担う優れた人材を育成しています。

研究

研究面では、我が国唯一の亜熱帯気候であり島嶼環境である沖縄県の地域特性を踏まえて、唯一無二の特色ある研究を推進しています。具体的には、亜熱帯環境下における感染症・寄生虫学研究、沖縄の健康長寿の復興を目指した医学研究、沖縄の生物資源を活用した創薬研究、沖縄に特有の希少疾患の研究、琉球列島の成り立ちと関連した人類遺伝学研究、アジアを主とした国際保健学研究などを行っています。これらの研究を支援する組織として、2015年に再生医療研究センターを、2016年に先端医学研究センターと沖縄バイオインフォメーションバンクを医学部内に設置しました。



社会貢献・国際交流



本学部および本研究科は、医師、保健医療従事者、および研究者を育成することで医学・医療に貢献しています。医学科では2009年から沖縄県の修学資金制度のもとで地域枠の学生を受け入れており、現在、地域枠の第1期生は卒業後9年目の医師になっていて、沖縄県の地域医療への本格的な貢献が始まったところです。新型コロナウイルス感染症の流行においては、沖縄県のワクチン接種や保健所業務の支援などを行っています。

本医学部は、国際性豊かな医学部として発展させることを基本目的としており、本医学部および本研究科は、国際交流を積極的に推進しています。医学科の臨床実習では、北米、欧州、アジアの医学部と提携し学生を相互に派遣しています。大学院では、大学院生に海外での研究の

機会を与えたり、外国人を大学院生として受け入れたりしています。また、最近、保健学研究科に、JICAの留学生を対象とした英語コースを新設しました。

❖ 医学教育企画室

医学教育企画室は、質の高い医学教育を提供するためのカリキュラムの企画、学務課・指導教員との連携のもとで学習支援・相談を行っています。令和5年度から6年間のポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業も担っています。

医療現場における多職種連携などのコミュニケーション能力や初歩的診察能力の修得を目的とする「シミュレーション演習」、将来のキャリア・パスについて考える「医学概論」、患者・家族と接する「外来患者付添い実習」、「体験学習（療養型施設）」、「離島地域病院実習」、チーム基盤型学習（TBL）形式での「チュートリアル学習」、離島診療所及び海外の大学病院での「診療参加型臨床実習」などの調整、進級・卒業試験にあたる「総合試験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」や、「CBT」・「臨床実習前 OSCE」・「臨床実習後 OSCE」などの共用試験の実施にも関わっています。

室長（併任）の他、専任教員3名と医学科・保健学科15名程度の企画室員（併任）で日々医学部生と向き合い、医学部の基本理念にかなう医療従事者の育成に努めています。



シミュレーション演習風景

❖ 長寿県沖縄の島嶼地域医療人材養成(保健学科)

保健学科は国際的視点をもつ地域貢献の人材育成、また沖縄の地域を理解した国際貢献できる人材育成というグローバルな人材育成を行っています。看護師、保健師、助産師、養護教諭を養成する看護コースと臨床検査技師、健康食品管理士を養成する検査技術コースからなります。離島を含めた僻地保健医療、高齢化社会、特有の風土病対策、子供の貧困と母子保健、増加する観光客と移住による外国人といった沖縄県の抱える様々な健康課題を理解し対応できる人材を育成しています。

学生は経験豊かな教員陣から広範囲な知識を得る一方、早い時期から地域医療機関での実習を行うことで、高い実践力を養い、地域に根付いた医療が出来るよう実力を蓄えていきます。講義と琉球大学病院の実習だけでなく、地域

の病院や保健関係施設での研修を積極的にカリキュラムに導入し、地域貢献の視点を養っています。さらに貧困問題・高齢化社会・地球温暖化など同様な課題を抱える東南アジアや太平洋島嶼地域の国々との交流を経て、異文化理解やグローバルな視点から地域問題を考え、いく力を養います。



公衆衛生看護実習 公民館で学生の健康教育

❖ アジア・太平洋地域との学術交流(保健学研究科)

保健学研究科は、人間健康開発学と国際島嶼保健学の2領域で構成されており、沖縄県の社会文化的環境および亜熱帯性自然環境を基盤とした健康・長寿の維持増進および再生に資する研究や、健康資源の解明に関する研究、アジア・太平洋地域の島嶼・僻地・地域保健の課題とその対策に関する研究などのユニークなテーマに取り組んでいます。この2つの領域は互いに融合し、亜熱帯性自然環境を基盤とした研究から得られた成果は、アジア・太平洋・アフリカ諸国での保健医療の増進に寄与するだけでなく、沖縄における異文化理解の力をもった保健医療者としての人材の育成にも貢献しています。

また英語コースによる特別プログラム：Okinawa Global Health Science Program をもち JICA（国際協力機構）開発大学院連携プログラムにも登録されています。アジア、太平洋、

アフリカ各国から多数の留学生を受け入れてきています。この受け入れにはアジア・太平洋諸国の多数の研究機関と交流協定を締結し、共同研究を推進する中で実現しています。留学生だけでなく日本人大学院生の積極的参加をはかることによって相互学習の環境が整っています。保健学研究科修了生は、各国保健医療機関、WHO などで施策に携わるなど、グローバルヘルスの分野で活躍しています。



❖ 医学研究科・保健学研究科

医学研究科は、医学・医療のダイナミックな変化や社会のニーズに対応できる自己改新力と生涯持続力を身につけた人材を育成することを目的としています。博士課程では、健康長寿や新興感染症などの沖縄の地域に根ざした問題、ES細胞・iPS細胞の確立により近年著しく進歩している再生・発生分野の研究等、研究プロジェクトに対応したコースワーク・リサーチワークを編成しています。修士課程でも、この新しい教育課程を取り入れ、博士課程と連携した体系的な教育プログラムを提供しています。

保健学研究科は、1986年に国立大学2番目の保健学専攻の大学院として設置された伝統ある研究科で、数多くの優れた人材を輩出して沖縄県の公衆衛生の向上、保健医療の発展のために多大

な貢献をしてきました。2007年に博士課程を設置し、現在の保健学研究科保健学専攻博士前期課程・博士後期課程となりました。本研究科は、心身ともに豊かな健康・長寿に資する高度な研究能力を有する保健学分野の研究者および指導者を養成することを目指しています。

修了生の多くは県内の保健医療機関、行政のリーダー、教育に携わる大学教員として活躍していますが、県外の研究機関や国際的な保健活動に活躍する人材も輩出しています。また、がん看護専門看護師養成コース、学校保健ヘルスプロモーションコース（養護教諭専修免許取得可）、Okinawa Global Health Science Program をもち、専門性の高い看護師養成に力を入れています。

❖ 臨床教育(琉球大学病院)

琉球大学病院では「病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、地域・社会に貢献する優れた医療人を育成する。」という理念に基づき、「高い人間性」を持ち患者本位の質の高い医療を提供できる医療人の養成、「高い専門性」や「豊富な知識」に基づく総合力を発揮し先進医療の開発・推進を担う人材の養成に努めています。

沖縄県の医療者育成は全国でも非常に高い評価を受けており、琉球大学病院はその中で中心的な役割を果たしています。医師育成において、医学部学生に対し医学教育企画室が臨床実習やクリニカルクラークシップの実践を、初期研修医に対し臨床研修センターが RyuMIC 初期臨床研修プログラムの運営を、そして専門医を目指す専攻医に対しキャリア形成支援センターが専門研修プログラムの運用、FD 企画や復職支援をおこなっています。

琉球大学病院では、地域医療に配慮した多彩な研修プログラムを設定し、熱意ある指導者のもとで屋根瓦式の教育体制がとられています。また、全国有数のシミュレーションセンターであるちゅら Sim を用いた研修も教育の質の向上に寄与しています。医師に限らず、看護師、薬剤師、検査・放射線技師、リハビリセラピスト、臨床工学技士など、多くの医療職種に対する教育・研修をキャリア形成支援センターがサポートし計画的に実施しています。これらの取り組みによりチーム医療での質の高い医療実践を目指します。特に看護師特定行為研修については力を入れており、これまでに多くの修了生を輩出しています。これらの教育は、人材育成だけに留まらず、地域医療の充実、臨床研究の推進、さらに「医療の安全のさらなる向上」に大きく寄与しています。

❖ シミュレーション教育 おきなわクリニカルシミュレーションセンター

おきなわクリニカルシミュレーションセンターは、沖縄県の寄付により平成24年3月に琉球大学医学部構内に開設された医療シミュレーション教育施設です。模擬環境を活用することで、医療現場での実践前に技術に習熟する、発生頻度の低い突発事態へのチーム対応を準備しておくといったトレーニングを行うことができます。そうした訓練を通して沖縄県内の医療水準の向上に貢献しています。学部教育においても、学生が実習に入る前の学習や振り返り等で活用しています。

そのほかに、当施設の事業として沖縄県内の研修医向けの教育企画シリーズ、シミュレーション教育指導者向けのセミナー、県内小中高校生向けの医療者体験イベントなどを開催しています。また、県内の医療教育機関および医療機関に幅広くご利用いただいています。

年間およそ延べ1万人以上の利用があり、当施設でシミュレーション教育の技能を習得した指導者が県内全域で活躍しています。

各種情報については <http://okinawa-clinical-sim.org/> をご参照ください。

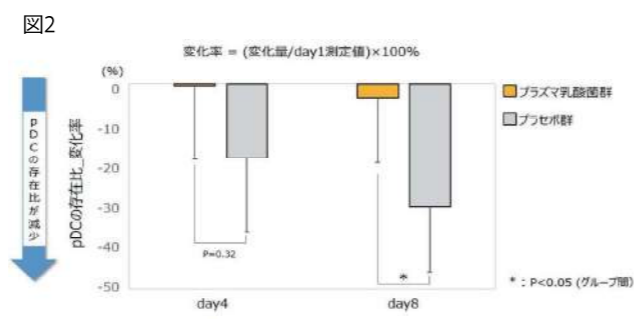
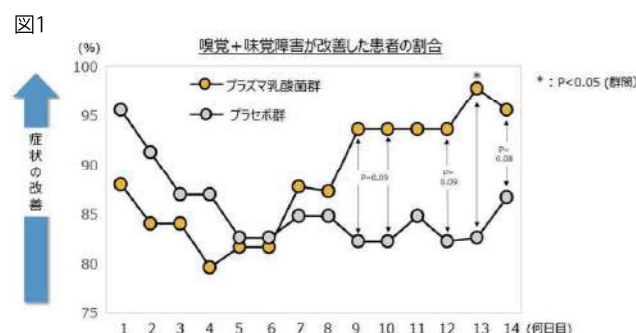


研究における特色①

樹状細胞を活性化するプラズマ乳酸菌による新型コロナウイルス感染症の治療

大学院医学研究科

山本 和子 感染症・呼吸器・消化器内科学講座 教授



ウイルス感染防御を担う免疫系の司令塔であるプラズマサイトイド樹状細胞（以下 pDC）を活性化させる特殊な乳酸菌として、2010 年に発見されたプラズマ乳酸菌は、インフルエンザウイルスやロタウイルス、デングウイルスなど各種ウイルスに対する臨床・非臨床で高いウイルス感染防御機能があることが明らかになっています。私を中心となり、新型コロナウイルス患者に対して約 4,000 億個のプラズマ乳酸菌を含むハードカプセル内服群（プラズマ乳酸菌群）、あるいはプラズマ乳酸菌を含まないハードカプセル内服群（プラセボ群）を、それぞれオミクロン BA.1 による軽症の新型コロナウイルス患者 50 名ずつに対して 14 日間投与し、その有効性と安全性を検証する、特定臨床研究を行いました。

1. 自覚症状総合スコアの変化量（主要評価項目）

7つの自覚症状（咳、呼吸困難感、倦怠感、頭痛、嗅覚・味覚障害、食欲不振、胸部痛）の各項目を4段階（0：影響なし、1：ほとんど影響なし、2：影響あり、3：深刻な影響あり）で評価し総合スコアで解析した結果、両群間で差は認められませんでした。

2. 味覚・嗅覚異常（副次評価項目）：図 1

自覚症状のうち、味覚・嗅覚異常においてそれぞれの群で0点を付けた（症状がないと回答した）患者の割合を解析した結果、9日目以降にプラズマ乳酸菌群で症状がなくなった方の割合が増えることを確認しました。

3. 血中 pDC 存在比の変化率（副次評価項目）：図 2

プラセボ群では新型コロナウイルス感染により血液中の pDC が大幅に減少する一方で、プラズマ乳酸菌摂取群では、血液に pDC が維持されていることを確認しました。

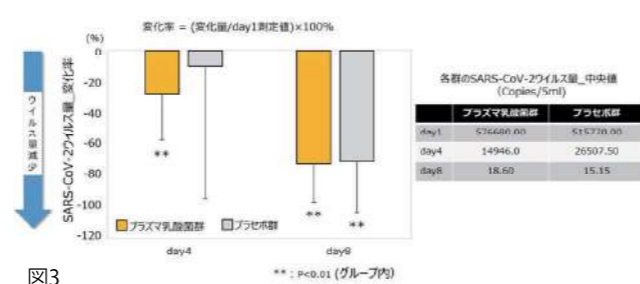
4. 新型コロナウイルス量の変化率（副次評価項目）：図 3

プラズマ乳酸菌摂取群では、投与4日目においてプラセボ群と比較して、新型コロナウイルス量の減少が大きくウイルス減少の速度を速めることが確認されました。

5. 安全性・有害事象

今回の試験で、安全性が懸念されるような有害事象は認められませんでした。

今回の特定臨床研究では、主要評価項目である自覚症状総合スコアでは明らかな効果は示されませんでした。プラズマ乳酸菌によって pDC が正しく作用した結果、新型コロナウイルスの早期減少、嗅覚・味覚障害の早期回復につながっている可能性が示唆されました。プラズマ乳酸菌が新型コロナウイルス感染症に対する新たな予防、治療法の一つになることを期待して、現在特許申請中です。



研究における特色②

RNA修飾システムの異常による疾患の発症メカニズムを探求する

大学院医学研究科

鈴木 健夫 医化学講座 教授

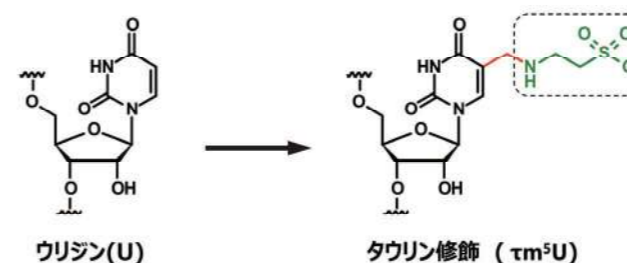


図 1 タウリン修飾の形成と化学構造（右）。タウリン部分を棒で示した。

1. RNA 修飾とは

細胞内で転写された RNA は様々なプロセッシングと呼ばれる加工の段階を経て、機能的に成熟します。RNA 修飾とは、転写された RNA 分子の特定の部位が、酵素的に化学構造を変化させる現象を指します。RNA 修飾は、スプライシングやポリ A 配列の付加・末端配列の切除といった、RNA の長さを変化させるプロセッシングと異なり、RNA の局所的な質的变化を引き起こすことで、従来にない物理化学的性質を付与する意味があります。

2. RNA 修飾異常と疾患

ミトコンドリア病はミトコンドリアの機能異常を伴う重篤な疾患であり、様々な臓器において多様な臨床症状がみられる特徴を持ちます。その中でもミトコンドリア脳筋症・乳酸アシドーシス・脳卒中様発作 (mitochondrial myopathy,

encephalopathy, lactic acidosis and stroke-like episodes: MELAS) について、ミトコンドリアゲノム内の tRNA 遺伝子に生じた点変異 (A3243G など) との相関が知られています。私たちはミトコンドリア tRNA の解析から、タウリンを含む新しい RNA 修飾である 5- タウリノメチルウリジン (以降、タウリン修飾) (図 1) を発見し、構造を決定してきました。そして MELAS 点変異を持つミトコンドリア tRNA ではこのタウリン修飾が著しく減少し、未修飾のままであることを発見してきました (図 2)。後に、タウリン修飾の欠損が原因で変異 tRNA が遺伝子を正しく読み取る機能を失っていることが証明されたことから、タウリン修飾の異常は疾患の直接的な要因となることが判明しました。

さらに私たちはタウリン修飾がどのように作られるかを明らかにし、タウリンの摂取や欠乏に反応してタウリン修飾量や修飾構造自体も調節される現象を発見しました (図 2)。

3. 拡大する修飾ワールド

転写後修飾による RNA の質的な変化を通じて遺伝子発現が制御されるという考え方は「エピトランスクリプトミクス」と呼ばれ、普及しつつあります。ヒトではこれまでに 50 種類以上の RNA 修飾構造が同定されており、私たちは、RNA 修飾システムの破綻が要因となる一連の疾患「RNA 修飾病」の発症メカニズムの理解に加え、診断 / 予防 / 治療 / 創薬につながる展開を目指しています。

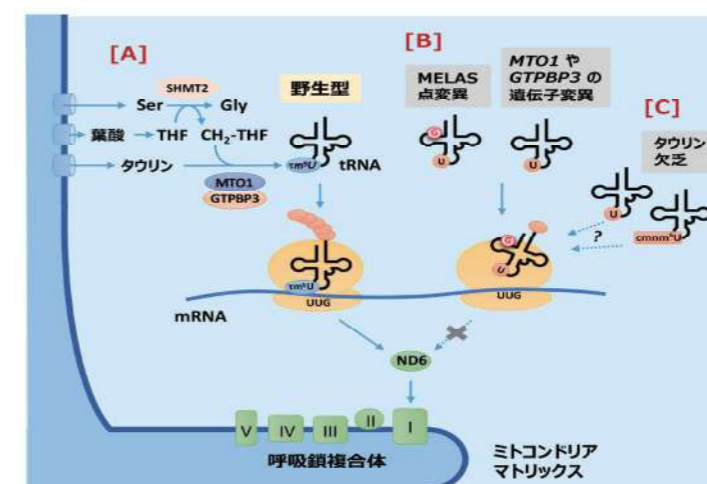


図 2 [A] タウリン修飾の生合成。[B] MELAS の点変異 tRNA や修飾遺伝子変異でタウリン修飾が作られなくなり、特定の遺伝子配列 (UUG) を読み取れなくなる。[C] 環境中のタウリンによって修飾の状態や構造も様々なに変化する。

研究における特色③

沖縄県に多い超難治性の血液がんに対する新たな治療法の開発へ
～がん細胞の糖代謝特性に注目した地域に根差す独創的アプローチ～



大学院医学研究科

仲地佐和子 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座（第二内科）診療教授

1. 糖尿病治療薬により血液がんの進行を食い止める？

がん細胞は増殖に有利になる環境を自ら作り出し、低栄養や低酸素などの劣悪な環境でもブドウ糖（グルコース）を貪欲に取り込み、たくましく生き延びます。このメカニズムは100年以上も前にノーベル医学・生理学賞を受賞した“ワールブルグ効果”と呼ばれるもので、がん細胞ではミトコンドリア機能不全の結果、エネルギー産生効率が高い酸化的リン酸化から効率の悪い解糖系にシフトせざるを得ない事情を反映しています。がんのこの特性はブドウ糖の取り込み能を可視化するPET検査として汎用されており、がんの転移や広がり、悪性度の評価に大活躍しています。

私達の研究チームでは九州・沖縄地域に多く見られる超難治性がん、“成人T細胞白血病”(Adult T cell lymphoma, ATL) が特にブドウ糖要求性が高く、悪性度に応じてブドウ糖の取り込みが増加することをPET検査を用いて実証しました。一方、“21世紀の国民病”と言われる糖尿病（推定患者数は1000万人以上）の死亡原因の第一位は“がん”であることを踏まえ、私達はATLと糖尿病の関連性に注目しました。発売されてやがて10周年を迎える糖尿病治療薬のひとつにSGLT2阻害剤と呼ばれる飲み薬があります。SGLT2はブドウ糖とナトリウムを細胞の中に輸送する働き（トランスポーターと呼ばれます）を持っており、SGLT2阻害剤は血糖値が高い状態のときだけ、腎臓からのブドウ糖の再吸収（ブドウ糖の取り込み）効率を低下させ、尿糖を増やすことによって

糖尿病を改善する医薬です。興味深いことに、最近の国内外の研究から、SGLT2がいろいろながん細胞においてブドウ糖の取り込みに関与している可能性が浮かび上がってきました。私達はATL細胞株やATL患者の白血球でSGLT2の発現レベルが顕著に上昇していること、ATL細胞株は培地のブドウ糖の濃度が高いほど増殖が速まること、ATL細胞にSGLT2阻害薬を作用させると細胞周期回転が止まり、細胞増殖が抑制されることを発見しました。私達の研究成果はこれまで決定的な治療法がなく、最も悪性度の高い血液がんとして知られていたATLの新たな治療戦略として国際的にも大きな注目を集めています。

2. 海外からのATL重症患者の受け入れ・治療に成功！

令和4年7月に琉球大学病院で初めてとなる海外（インドネシア・バリ島）からの重症患者を受け入れました。原因不明の寝たきり状態で全身状態も極めて悪く、一刻も早い診断・治療が必要な沖縄県出身の高齢女性患者でした。現地医療スタッフの皆さんが同行され、プライベート・ジェット機でバリ島から沖縄まで無事に搬送し、入院していただきました。入院後、ATLと診断がつき、速やかに治療を開始、奇跡的に一連の治療が奏功し、先般、無事に退院しました。この快挙はNHKニュースや地元新聞（琉球新報・沖縄タイムス）でも大きく紹介され、日頃の基礎研究の積み重ねが医療の現場に活かされました。



研究における特色④

生物統計の世界から健康へ貢献する



保健学科

米本 孝二 基礎看護学講座 生物統計学分野 教授

栄養疫学における食事パターン抽出法の検討

疾患発症予防のための食事に関する研究は、単独の食品や栄養素の摂取量の評価では不十分であることが知られ、食事全体を評価する食事パターンの研究が広く行われるようになってきています。その抽出法はいくつかありますが代表的なものとして、主成分分析法 (PCA) という多次元の食品群摂取量のばらつきを最もよく表す食事パターンスコアに要約する方法と、疾患に影響を与えることが既知のバイオマーカーや栄養素摂取量のばらつきを最もよく表す食事パターンスコアに要約する縮小次元回帰法 (RRR) の2つ (図1) があり、現在どちらの方法も良く用いられています。どちらも次元縮小の方法ではありますが、次元縮小の概念を図2に示します。また食事の健康影響を評価する際に考慮しないといけないこととして、エネルギー摂取量の影響の調整があります。エネルギー摂取量が多いと様々な食品を多く摂取していることになりませんが、一定期間における食習慣を評価した際には、エネルギー摂取量はその人の体格や身体活動に応じた量をとっており、各食品・栄養素摂取量はその人の体格に応じて量の持つ意味が異なります。そのことを考慮するため

に、残差法と密度法というエネルギー調整法があり、それぞれ一長一短があります。このように食事パターン抽出法、エネルギー調整法はそれぞれ複数混在しており、研究によってさまざまな組み合わせが用いられています。そこで、徳島大学病院糖尿病対策センターが実施している職域栄養疫学研究のデータを使用し、考える組み合わせすべてで、メタボリックシンドローム発症に影響を与える食事パターンを抽出し、性能比較を実施しました。その結果、組み合わせによって疾患発症予防につながる食事パターンを抽出できる場合と出来ない場合があることが分かり、複数の組み合わせを考慮し、その中で最適なものを採用することが望まれることが分かりました。(浦崎 祐華氏, 2022年度修士論文)

その他の研究

区間打ち切りデータに対する生存時間解析手法の性能比較、AI診断手法の性能比較、オープンデータと法医学データを用いた孤独死に対する飲酒習慣の影響の評価など、学生の興味に応じ、多種多様な研究を実施しています。

図1: 食事パターンの評価方法を作成する考え方の整理

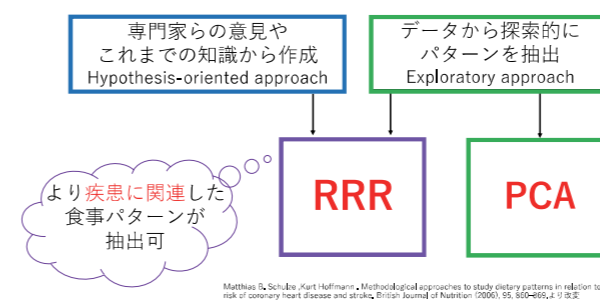
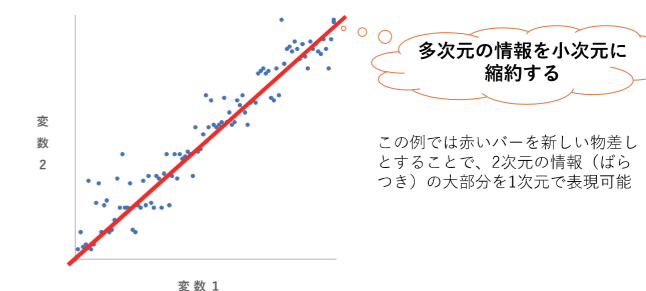


図2: 次元縮小の概念図



社会貢献 沖縄県の公衆衛生向上に取り組む行政への協力

中村 幸志 大学院医学研究科 衛生学・公衆衛生学講座 教授

公衆衛生学は「共同社会の組織的な努力を通して、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的機能の増進をはかる科学・技術（Winslow CEA）」です。医学のなかでは社会医学に分類されます。

当講座は、医学部医学科教育においては広く公衆衛生学全般を教授していますが、専門性を持って取り組む研究、大学院教育および社会活動においては生活習慣病予防を柱としています。このため、肥満や多量飲酒などを基盤とする生活習慣病に対処し、健康長寿県の復活を目指す沖縄県内の公衆衛生行政の取り組みと私どもの専門領域が重なり、私どもに参画するようにお声掛けいただいています。

沖縄県保健医療部では、健康長寿課健康推進班が中心となり、県民一人ひとりの主体的な健康づくりを促すとともに、社会全体での総合的な健康づくりを推進するための指標である「健康おきなわ21」の目標の設定と評価に関する総括委員会の委員（兼ねて生活習慣病・がん分野委員会の委員長）、同課がん対策班のがん対策計画を検討する会の委員、国民健康保険課高齢者医療班の若年期からの健康づくりを念頭にいた医療費適正化計画を検討する委員会の委員を拝命しています。このような会合に医師会などの職能団体の代表者、公衆衛生関連組織の代表者などとともに参画し、それぞ

れの立場で沖縄県の公衆衛生向上について考え、県行政に意見を出し合っています。また、データサイエンスの一種といえる疫学の専門家として、沖縄県が推進するデータヘルス計画（健診・医療費データ分析）へ助言しています（図1）。

市町村レベルでは、2025年に琉球大学医学部・病院が移転する宜野湾市と連携して住民の健康づくりを促進するために市と意見を交わしたり、2022年に与那国町が実施した住民の食育意識調査と連携して当講座が生活習慣病予防の疫学研究を実施し（図2）〔Fukumine Y, et al. Hypertens Res, in press〕、データに基づく住民の生活の実態を踏まえて健康づくりの在り方について町と意見を交わしています。

公衆衛生の立場で研究と社会活動の両面で生活習慣病予防に取り組む当講座および医師をご理解いただければ幸いです。

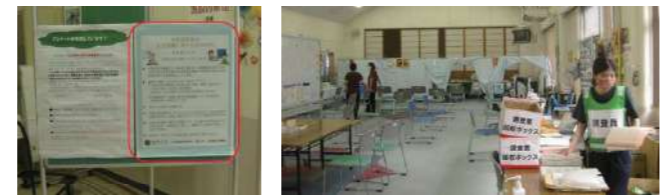
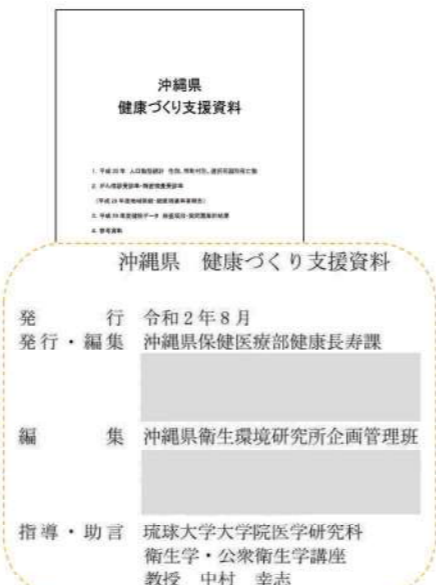
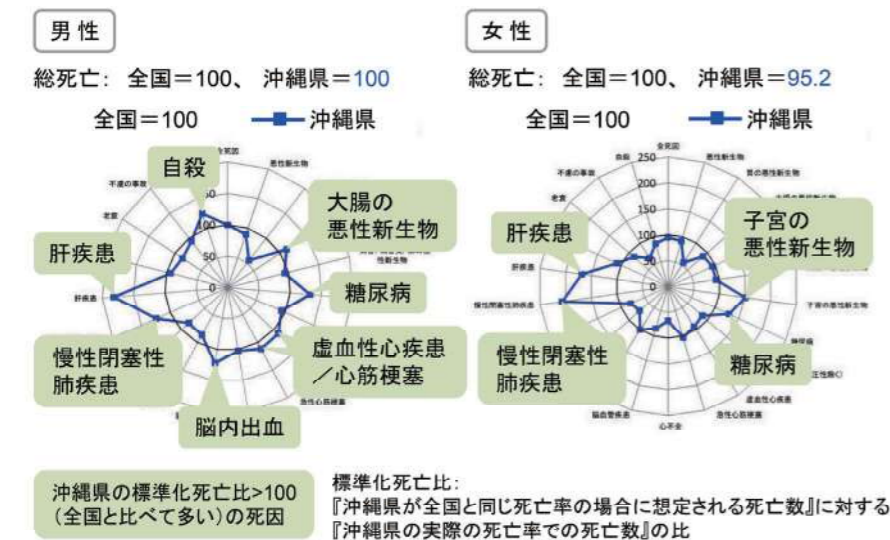


図2. 与那国町での疫学研究
(住民健診の場で大学院生とともに調査を行った様子)

全国と比べた沖縄県の総死亡および原因別死亡の状況〔標準化死亡比〕



沖縄県保健医療部健康長寿課. 健康おきなわ21. <http://www.kenko-okinawa21.jp/090-docs/> (引用改変)

図1. 沖縄県「健康おきなわ21」に関連したデータヘルス計画への貢献

国際交流

小林 潤 大学院医学研究科・医学部 国際交流・地域連携推進委員会 委員長



太平洋島嶼国の学校保健普及に関するWHO西太平洋事務局との共同開催シンポジウム 2022年9月 フィリピン国マニラ首都圏

(医学部全体)

沖縄県は、我が国唯一の亜熱帯気候で島嶼によって形成されており、熱帯病の制圧や島嶼によって形成された地域保健医療の確立に豊富な経験を有しています。これらを踏まえて、医学部設立以来、同様な保健医療課題を持つアジア・太平洋地域への国際協力を展開してきました。医学科では世界的な趨勢である国際水準を満たした医学教育プログラムの

導入にいち早く取り組み、平成29年に国際認証を受けました。これを受けて海外協定校にて、短期の研究実習と臨床実習が行われており、国際水準を満たしグローバルな感覚を持つ医師の育成に注力しています。保健学科では、学部教育においてSDGsや国際保健に関連した科目を設定し、タイ国チェンマイ大学看護学部との学生交流によって異文化理解の教育を長年実施しています。保健学研究科は、琉球大学とJICA 沖縄の連携覚書のもと中核的働きを担っていますが、2021年に正式にJICA 開発大学院連携に登録され多くの留学生を受け入れているほか、保健分野の課題別研修を実施、アジア・太平洋のほか全世界から保健行政・医療の従事者を受け入れています。またJICA 草の根「貧困僻地郡における女性のエンパワメントによる母子保健強化プロジェクト」を2023年4月に開始し、ラオス国に対する社会貢献活動を再開させました。保健学研究科は現在太平洋地域のアイランドヘルス教育・研究拠点の形成を目指し、アジア・太平洋諸国の研究教育機関との連携事業を強化し、大学院生の派遣による国際共同研究を多数実施しています。

平井 到 保健学科 病態検査学講座 教授

(保健学研究科)

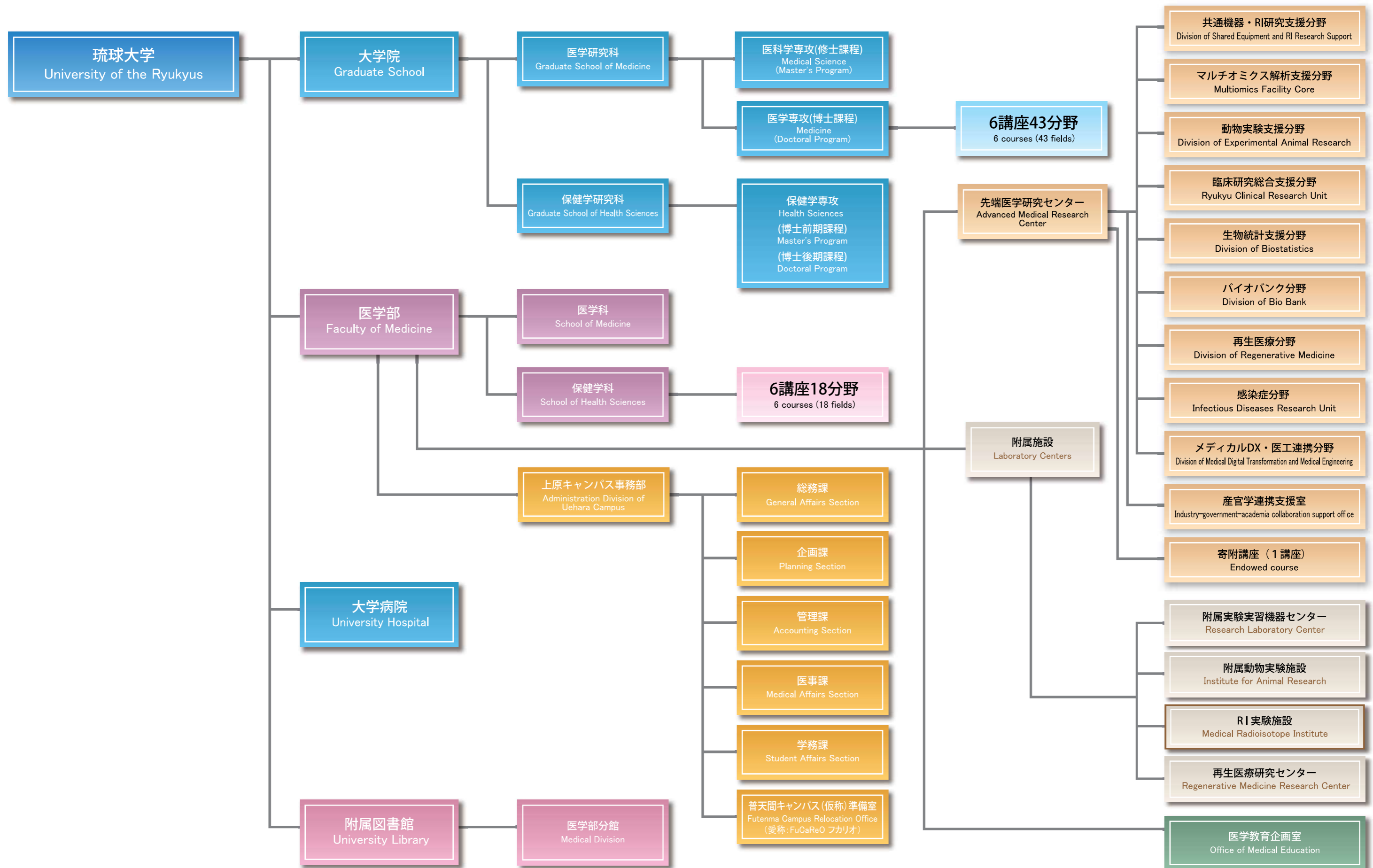
保健学科・保健学研究科で行っている国際交流の一例を示します。

薬剤耐性菌による感染症では抗生物質による治療が困難になります。このような薬剤耐性菌は、国内外を問わず市中や環境、健康な人にまで拡散しており、公衆衛生上の脅威と考えられています。ですから、現在、インドネシア・アイルランガ大学医学部と行っている、薬剤耐性菌に関する国際共同研究においても、インドネシアの調査地の現状を調査する

フィールドワークと、琉球大学で行われる、調査地から分離された薬剤耐性菌の先端的なラボワークを併せて行うことで、課題の解決に迫っています。

これら国際共同研究の中で行われる調査・研究の過程では大学院生の相手国への派遣、相手国研究者の来日、国費留学生の大学院進学など、多くの国際交流の機会があり、保健学科の学部学生や保健学研究科の大学院生にとっても、海外の研究者・学生と多種多様な交流ができる貴重な機会となっています。





※□は学内措置施設

大学院医学研究科 Graduate School of Medicine

医学研究科長(併)
Dean 教授 筒井 正人
TSUTSUI Masato

医学専攻(博士課程) Medicine (Doctoral Program)

システム生理学講座
Systems Physiology 教授 宮里 実
MIYAZATO Minoru

放射線診断治療学講座
Radiology 教授 西江 昭弘
NISHIE Akihiro

脳神経外科学講座
Neurosurgery 教授 石内 勝吾
ISHIUCHI Shogo

眼科学講座
Ophthalmology 教授 古泉 英貴
KOIZUMI Hideki

育成医学講座
Child Health and Welfare 教授 中西 浩一
NAKANISHI Koichi

耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座
Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery 教授 鈴木 幹男
SUZUKI Mikio

精神病態医学講座
Neuropsychiatry 教授 近藤 毅
KONDO Tsuyoshi

再生医学講座
Regenerative Medicine 教授 野口 洋文
NOGUCHI Hirofumi

先進ゲノム検査医学講座
Advanced Genomic and Laboratory Medicine 教授 前田 士郎
MAEDA Shiro

分子解剖学講座
Molecular Anatomy 教授 高山 千利
TAKAYAMA Chitoshi

ゲノム医学講座
Medical Genomics 准教授 小田 高也
ODA Takaya

人体解剖学講座
Human Biology and Anatomy 教授 木村 亮介
KIMURA Ryosuke

分子・細胞生理学講座
Molecular and Cellular Physiology 教授 松下 正之
MATSUSHITA Masayuki

薬理学講座
Pharmacology 教授 筒井 正人
TSUTSUI Masato

胸部心臓血管外科学講座
Thoracic and Cardiovascular Surgery 教授 古川 浩二郎
FURUKAWA Kojiro

麻酔科学講座
Anesthesiology 教授 垣花 学
KAKINOHANA Manabu

整形外科学講座
Orthopedic Surgery 教授 西田 康太郎
NISHIDA Kotaro

形成外科学講座
Plastic and Reconstructive Surgery 教授 清水 雄介
SHIMIZU Yusuke

腎泌尿器外科学講座
Urology 教授 齋藤 誠一
SAITO Seichi

顎顔面口腔機能再建学講座
Oral and Maxillofacial Functional Rehabilitation 教授 中村 博幸
NAKAMURA Hiroyuki

救急医学講座
Emergency and Critical Care Medicine 教授 梅村 武寛
UMEMURA Takehiro

臨床薬理学講座
Clinical Pharmacology and Therapeutics 教授 植田 真一郎
UEDA Shin-ichiro

薬物治療学講座(協力)
Pharmacotherapy 教授 中村 克徳
NAKAMURA Katsunori

医化学講座
Medical Biochemistry 教授 鈴木 健夫
SUZUKI Takeo

生化学講座
Biochemistry 教授 黒柳 秀人
KUROYANAGI Hidehito

腫瘍病理学講座
Pathology and Oncology 教授 和田 直樹
WADA Naoki

細胞病理学講座
Pathology and Cell Biology

衛生学・公衆衛生学講座
Public Health and Hygiene 教授 中村 幸志
NAKAMURA Koshi

法医学講座
Legal Medicine 教授 二宮 賢司
NINOMIYA Kenji

内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座
Internal Medicine, Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology, Rheumatology 教授 益崎 裕章
MASUZAKI Hiroaki

循環器・腎臓・神経内科学講座
Cardiovascular Medicine, Nephrology and Neurology 准教授 石田 明夫
ISHIDA Akio

消化器・腫瘍外科学講座
Digestive and General Surgery 教授 高槻 光寿
TAKATSUKI Mitsuhsa

女性・生殖医学講座
Medical Science of Women and Reproduction

微生物学・腫瘍学講座
Microbiology and Oncology 教授 森 直樹
MORI Naoki

細菌学講座
Bacteriology 教授 山城 哲
YAMASHIRO Tetsu

免疫学・寄生虫学講座
Immunology and Parasitology 教授 岸本 英博
KISHIMOTO Hidehiro

皮膚科学講座
Dermatology 教授 高橋 健造
TAKAHASHI Kenzo

先進医療創成科学講座
Investigative Medicine 教授 山下 暁朗
YAMASHITA Akio

感染症・呼吸器・消化器内科学講座
Infectious, Respiratory and Digestive Medicine 教授 山本 和子
YAMAMOTO Kazuko

生体防御学講座(協力)
Host Defense 教授 松崎 吾朗
MATSUZAKI Goro

感染免疫制御学講座(協力)
Vaccine Research and Development 教授 新川 武
ARAKAWA Takeshi

ウイルス学講座
Virology 教授 大野 真治
OHNO Shinji

臨床研究教育管理学講座
Clinical Research and Quality Management 教授(併) 植田 真一郎
UEDA Shin-ichiro

医学専攻(修士課程)
Medical Sciences (Master's Program)

大学院保健学研究科 Graduate School of Health Sciences

保健学専攻(博士前期課程、博士後期課程)
Health Sciences (Master's and Doctoral Program) 教授 小林 潤
KOBAYASHI Jun

人間健康開発学領域
Human Health Promotion 国際島嶼保健学領域
International & Islands Health Sciences

医学部長(併) Dean

教授 筒井 正人
Professor TSUTSUI Masato

副医学部長(併) Vice-Dean

教授 岸本 英博
Professor KISHIMOTO Hidehiro

教授 宮里 実
Professor MIYAZATO Minoru

教授 高槻 光寿
Professor TAKATSUKI Mitsuhsa

教授 原嶋 奈々江
Professor HARASHIMA Nanae

学部長補佐(併) Assistant to the Dean

教授 山城 哲
Professor YAMASHIRO Tetsu

医学科長(併) School of Medicine

教授 高橋 健造
Professor TAKAHASHI Kenzo

保健学科長(併) School of Health Sciences

教授 小林 潤
Professor KOBAYASHI Jun

保健学科 School of Health Sciences

基礎看護学講座 Department of Fundamental Nursing

基礎看護学分野
Fundamental Nursing 教授 豊里 竹彦
Professor TOYOSATO Takehiko

疫学・健康教育学分野
Epidemiology and Health Promotion 教授 高倉 実
Professor TAKAKURA Minoru

生物統計学分野
Biostatistics 教授 米本 孝二
Professor YONEMOTO Koji

成人・老年看護学講座 Department of Adult and Gerontological Nursing

成人・がん看護学分野
Adult Health and Cancer Nursing 教授 照屋 典子
Professor TERUYA Noriko

在宅・慢性期看護学分野
Home Care and Chronic Care Nursing 准教授 関口 浩至
Assoc.Prof. SEKIGUCHI Hiroshi

老年看護学分野
Gerontological Nursing

母子看護学講座 Department of Maternal and Child Nursing

母性看護・助産学分野
Maternal Nursing and Midwifery 教授 遠藤 由美子
Professor ENDOH Yumiko

小児看護学分野
Child Health Nursing

国際地域保健学分野
Global Health 教授 小林 潤
Professor KOBAYASHI Jun

地域看護学講座 Department of Community Health Nursing

地域看護学分野
Community Health Nursing 准教授 當山 裕子
Assoc.Prof. TOYAMA Yuko

精神看護学分野
Mental Health Nursing 教授 與古田 孝夫
Professor YOKOTA Takao

臨床心理・学校保健学分野
Clinical Psychology and School Health 講師 和氣 則江
Instructor WAKE Norie

生体検査学講座 Department of Basic Laboratory Sciences

生体代謝学分野
Biometabolic Chemistry 教授 原嶋 奈々江
Professor HARASHIMA Nanae

分子遺伝学分野
Molecular Genetics 教授 中尾 浩史
Professor NAKAO Hiroshi

形態病理学分野
Morphological Pathology 教授 金城 貴夫
Professor KINJO Takao

病態検査学講座 Department of Clinical Laboratory Sciences

病原体検査学分野
Microbiology 教授 平井 到
Professor HIRAI Itaru

生理機能検査学分野
Clinical Physiology 教授 粟田 久多佳
Professor AWATA Hisataka

血液免疫検査学分野
Hematoimmunology 教授 福島 卓也
Professor FUKUSHIMA Takuya

先端医学研究センター Advanced Medical Research Center

センター長
Director 教授(併) 筒井 正人
Professor TSUTSUI Masato

共通機器・RI研究支援分野
Division of Shared Equipment and RI Research Support 教授(併) 岸本 英博
Professor KISHIMOTO Hidehiro

マルチオミクス解析支援分野
Multiomics Facility Core 教授(併) 鈴木 健夫
Professor SUZUKI Takeo

動物実験支援分野
Division of Experimental Animal Research 教授(併) 高山 千利
Professor TAKAYAMA Chitoshi

臨床研究総合支援分野
Ryukyuu Clinical Research Unit 教授(併) 植田 真一郎
Professor UEDA Shin-ichiro

生物統計支援分野
Division of Biostatistics 教授(併) 米本 孝二
Professor YONEMOTO Koji

バイオバンク分野
Division of Bio Bank 教授(併) 前田 士郎
Professor MAEDA Shiro

再生医療分野
Division of Regenerative Medicine 教授(併) 野口 洋文
Professor NOGUCHI Hirofumi

感染症分野
Infectious Diseases Research Unit 教授(併) 山城 哲
Professor YAMASHIRO Tetsu

メディカルDX・医工連携分野
Division of Medical Digital Transformation and Medical Engineering 教授(併) 横田 秀夫
Professor YOKOTA Hideo

ブレイン・ヘルスケア学講座(寄附)
Department of Brain Healthcare 教授(併) 石内 勝吾
Professor ISHIUCHI Shogo

産官学連携支援室
Industry-government-academia collaboration support office

医学教育企画室 Office of Medical Education

室長(併)・教授
Professor 宮里 実
MIYAZATO Minoru

6 職員

Academic and Administrative Staffs

病院職員 Hospital Staff

- 薬剤部 教授** 中村 克徳 (Department of Pharmacy, Professor NAKAMURA Katsunori)
- 地域・国際医療部 診療教授** 中島 信久 (Division of Community Medical and International Medicine, Clinical Professor NAKAJIMA Nobuhisa)
- 救急部 特命准教授** 武村 克哉 (Emergency Unit, Specially Appointed Assoc.Prof. TAKEMURA Katuya)
- 救急部 特命准教授** 大内 元 (Emergency Unit, Specially Appointed Assoc.Prof. OUCHI Gen)
- 放射線部 准教授** 與儀 彰 (Division of Radiological Service, Assoc.Prof. YOGI Akira)
- 血液浄化療法部 診療教授** 古波蔵 健太郎 (Blood Purification Unit, Clinical Professor KOHAGURA Kentaro)
- 医療情報部 教授** 廣瀬 康行 (Medical Informatics, Professor HIROSE Yasuyuki)
- 周産母子センター 教授** 銘苅 桂子 (Maternity and Perinatal Care Center, Professor MEKARU Keiko)
- 周産母子センター 准教授** 吉田 朝秀 (Maternity and Perinatal Care Center, Assoc.Prof. YOSHIDA Tomohide)
- がんセンター 診療教授** 増田 昌人 (Cancer Center, Clinical Professor MASUDA Masato)
- 総合臨床研修・教育センター 診療教授** 原永 修作 (Comprehensive Health Professions Education Center, Clinical Professor HARANAGA Shusaku)
- 診療情報管理センター 特命教授** 平田 哲生 (Health Information Management Center, Specially Appointed Professor HIRATA Tetsuo)
- 心臓血管低侵襲治療センター 特命教授** 岩淵 成志 (Non-invasive Cardiovascular Intervention Center, Specially Appointed Professor IWABUCHI Masashi)
- おきなわクリニカルシミュレーションセンター 特命教授** 奥村 耕一郎 (Okinawa Clinical Simulation Center, Specially Appointed Professor OKUMURA Koichiro)
- 沖縄県地域医療支援センター 特命准教授** 川妻 由和 (Okinawa Community Medicine Support Center, Specially Appointed Assoc.Prof. KAWAZUMA Yoshikazu)
- 高気圧治療部 准教授** 前原 博樹 (Center for Hyperbaric Medicine and Environmental Health, Assoc.Prof. MAEHARA Hiroki)

職員数 Number of Staff Member

令和5年5月1日現在 (as of May 1, 2023)

職種区分 Classification	医学部 Faculty of Medicine		医学研究科 Graduate School of Medicine		病院 University Hospital		上原キャンパス 事務部 Administration Division of Uehara Campus		
	常勤 Permanent Staff	非常勤 Non-Permanent Staff	常勤 Permanent Staff	非常勤 Non-Permanent Staff	常勤 Permanent Staff	非常勤 Non-Permanent Staff	常勤 Permanent Staff	非常勤 Non-Permanent Staff	
教員 Academic	教授 Professors	16[3]	0	35	0	6[3]	0	0	0
	准教授 Associate Professors	12[3]	0	21	0	10[6]	0	0	0
	講師 Instructor	6[1]	0	2	0	30[4]	0	0	0
	助教 Assistant Professors	9	0	67[1]	0	66[12]	0	0	0
医員 Medical Staffs	0	0	0	0	0	190	0	0	
専門指導医 Medical Directors	0	0	0	0	0	15	0	0	
研修医 Residents	0	0	0	0	0	26	0	0	
ポスドク研究員 Postdoctoral Fellows	0	0	0	0	0	0	0	0	
産学官連携研究員 Research Fellows	0	1	0	0	0	1	0	0	
特命研究員 Specially Appointed Fellows	1[1]	0	0	0	0	0	0	0	
事務系職員 Administrative Staffs	4	55[2]	3[3]	0	11[3]	79	110	61	
技能職員 Technical Staffs	32[1]	57	0	0	21[3]	53	7	1	
医療系職員 Paramedical	0	0	1[1]	0	185[4]	13	0	0	
看護師 Nurses	0	2	0	0	651	23	0	0	
看護助手 Nurses Aides	0	0	0	0	0	53	0	0	
教務職員 Research Associates	0	1	0	0	0	0	0	0	
合計 Total	80	116	129	0	980	453	117	62	

注 [] は特命教職員で内数
注 長期休暇者(育児休業者など)を除く

附属図書館医学部分館 Library, Medical Division

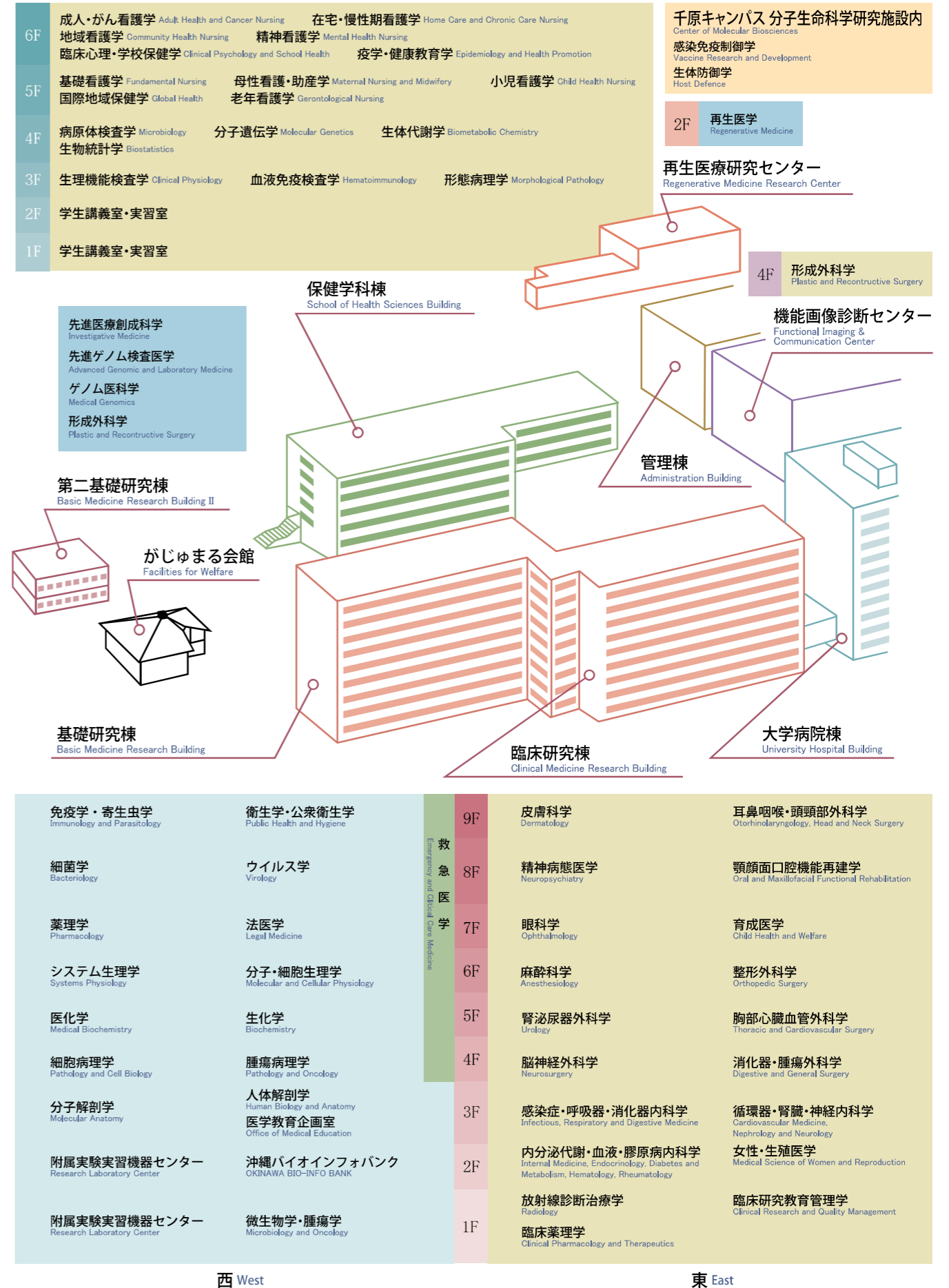
医学部分館長(併)・教授 古泉 英貴 (Director/Professor KOIZUMI Hideki)

上原キャンパス事務部 Administration Division of Uehara Campus

- 事務部長 加藤 善一 (Director KATO Yoshikazu)
- 企画課長 知念 芳和 (Head for Planning Section CHINEN Yoshikazu)
- 医事課長 仲里 隆司 (Head for Medical Affairs Section NAKAZATO Ryuji)
- 総務課長 仲本 律雄 (Head for General Affairs Section NAKAMOTO Ritsuo)
- 管理課長 池原 広和 (Head for Accounting Section IKEHARA Hirokazu)
- 学務課長 鈴木 極 (Head for Student Affairs Section SUZUKI Kiwamu)

7 講座及び分野配置図

Departments and Subjects Map



再生医療研究センター Regenerative Medicine Research Center

沖縄県の再生医療中核拠点として、平成27年4月に再生医療研究センターが設置され、同年6月に開所式が行われました。当センターは、ロート製薬(株)から寄贈された2階建ての建物(延床面積812㎡)の1階部分に、沖縄県の先端医療産業開発拠点形成事業で整備された本格的な細胞培養加工施設(床面積224㎡)を有しています。この細胞培養加工施設は、合計12のユニットからなる本格的なもので、近年主流になりつつあるアイソレータ方式を採用しています。このアイソレータ内は極めて高い無菌状態となっており、GMP基準に準

拠した再生医療用の細胞を調製できます。

当センターの業務は、細胞培養加工施設を維持管理・運営しつつ、安全な再生医療用の細胞を供給し、医学部附属病院や医療機関、研究機関、企業などと連携して優れた再生医療研究を実用化することです。将来的には、当センターにて実用化された再生医療を多くの患者さんに提供し、沖縄県の健康社会の実現と再生医療の産業化推進に貢献したいと考えています。



再生医療研究センター外観



細胞調製ユニット内のアイソレータ

RI実験施設 (学内措置施設) Medical Radioisotope Institute

RI実験施設は、昭和58年11月科学技術庁による承認を受け、3階建て延べ約1,200mの管理区域からなる学内共同利用施設として開設され、施設長(兼任)、施設主事(兼任)、教務職員(専任)、事務補佐員(非常勤)の4名が、利用者に対する定期的な教育訓練、被ばく管理、ならびに施設の安全管理等の業務を担当しています。

当実験施設には、RI測定用機器室に加え、生化学・分子生物学実験室、動物実験室および動物飼育室、ならびにP2

レベルの細胞培養室が設置されています。過去数十年間、RIは医学・分子生物学研究の発展に輝かしい功績を残してきましたが、近年は実験系のNon-RI化により以前に比べると利用頻度は減少しています。当施設は、琉球大学医学部及び病院の西普天間地区への移転に伴い、2024年度をもって閉鎖を予定しています。



施設外観



β線測定室

先端医学研究センター Advanced Medical Research Center

先端医学研究センターは、沖縄健康医療拠点の形成に向けた研究推進の中核を担う組織として2016年に設立されました。基礎研究支援部門と臨床研究支援部門からなり、亜熱帯・島嶼という地理的特性をふまえた本学部の特色ある先端医学研究を支援しています。また、製薬会社やベンチャー企業等の産業界、日本政府の各省庁、ならびに沖縄県等の地方自治体との産官学連携による沖縄発の医療イノベーションの創出を目指しています。本センターには、2016年に沖縄バイオインフォメーションバンクが設立され、沖縄県住民の検体、ヒト脂肪幹細胞、生物資源ライブラリなどがストックされ、ヒトゲノム研究、再生医療研究、創薬開発などが行われ成果を上げています。また、2015年には再生医療研究センターが設立され、再生医療・細胞治療研究が活発に行われています。



附属実験実習機器センター Research Laboratory Center

当センターは、大型の研究機器の効率的な管理・運用を目的として、昭和58年8月、医学部基礎研究棟の1階と2階に医学部附属共同利用施設として設立されました。当センターには、電子顕微鏡、生化学・分子生物学関連の機器、P3レベルの組換え生物・病原微生物の実験が可能な実験室、各種医用電子機器、および学内LAN・ネットワーク機器を備え、それらの管理・運用を行っています。近年は、共焦点レーザー顕微鏡、セルアナライザー、セルソーター等の細胞解析装置や、小型次世代DNAシーケンサー、一分子リアルタイムDNAシーケンサー、デジタルPCR装置などゲノム解析装置が順次導入され運用されています。当センターでは、今後、これらの機器を活用した研究の推進に貢献すると共に、さらなる機能強化を図って行きたいと考えています。



附属動物実験施設 Institute for Animal Research



附属動物実験施設



飼育装置

医学部附属の共同利用施設として、昭和58年10月31日に第一期、昭和62年9月30日に第二期、平成5年3月31日に第三期の各工事を経て、合計約3,000㎡の動物実験施設が竣工しました。本施設は医学部附属施設ではありますが、本学唯一の本格的動物実験施設であることから学内共同利用施設として位置付けられており、他学部の研究者及び学生にも開放されています。施設は、臨床・基礎研究棟から独立した鉄筋コンクリート3階建ての建物で、通常条件下での動物飼育・実験室のほかに、感染実験動物飼育室・実験室、SPF動物飼育室・実験室、教員実験室、多目的飼育室、実習用セミナー室、洗浄滅菌室、事務室等からなっています。実験動物学の研究、教育の発展に対する貢献を目指して施設機能の充実を図っています。

1.医学部学生の定員及び現員 Quota and Present Number of Medical Students

令和5年5月1日現在 (as of May1,2023)

学科 School	入学定員 Enrollment Quota 内数5名 2年次編入	収容定員 Total Number	現員 Present Number of Medical Students													
			1年 First		2年 Second		3年 Third		4年 Fourth		5年 Fifth		6年 Sixth		合計 Total	
			男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
医学科 School of Medicine	117 (5)	697	70	55	70	58	49	58	74	53	64	59	62	42	389	325
			125		128		107		127		123		104		714	
保健学科 School of Health Sciences	60	240	18	47	11	48	12	54	16	39					57	188
			65		59		66		55						245	

2.医学部入学志願者数及び入学者数 Number of Applicants and Enrollment

令和5年度

学科 School	入学定員 Enrollment Quota	入学志願者数 Quota Applicants			入学者数 Enrollment Permitted		
		男 Male	女 Female	合計 Total	男 Male	女 Female	合計 Total
医学科 School of Medicine	112	673	475	1148	60	52	112
保健学科 School of Health Sciences	60	48	151	199	17	43	60

3.医学部学生の都道府県別入学状況 Regional Distribution of Enrollment

令和5年度

学科 School	沖縄 Okinawa	北海道 Hokkaido	東京 Tokyo	埼玉 Saitama	愛知 Aichi	大阪 Osaka	兵庫 Hyogo	福岡 Fukuoka	鹿児島 Kagoshima	その他 Others	合計 Total
医学科 School of Medicine	54 (26)	1 (1)	11 (5)	1 (0)	6 (5)	6 (4)	4 (1)	2 (1)	3 (0)	24 (9)	112 (52)
学科 School	沖縄 Okinawa	東京 Tokyo	神奈川 Kanagawa	静岡 Shizuoka	愛知 Aichi	和歌山 Wakayama	徳島 Tokushima	福岡 Fukuoka		その他 Others	合計 Total
保健学科 School of Health Sciences	51 (36)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)		1 (0)	60 (43)

注 () は女子で内数 Note: The number of female students is indicated in parentheses.

4.大学院学生の定員及び現員 Quota and Present Number of Graduate School Students

令和5年5月1日現在 (as of May1,2023)

研究科 Graduate School	入学定員 Enrollment Quota	収容定員 Total Number	現員 Present Number of Graduate School Students													
			1年 First		2年 Second		3年 Third		4年 Fourth		合計 Total					
			男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female				
医学研究科 Graduate School of Medicine	修士 Master's Course	15	30	5	2	5	5					10	7			
	博士 Doctoral Course	30	120	7		10		12	9	15	8	12	6	72	35	111
保健学研究科 Graduate School of Health Sciences	博士前期 Master's Course	10	20	3	6	4	6					7	12			
	博士後期 Doctoral Course	3	9	2	2	1	5	3	7			6	14			
				4		6		10				20				

5.大学院入学志願者数及び入学者数 Number of Graduate School Applicants and Enrollment

令和5年度

研究科 Graduate School	入学定員 Enrollment Quota	入学志願者数 Quota Applicants			入学者数 Enrollment Permitted			
		男 Male	女 Female	合計 Total	男 Male	女 Female	合計 Total	
医学研究科 Graduate School of Medicine	修士 Master's Course	15	5	2	7	5	2	7
	博士 Doctoral Course	30	13	9	22	12	9	21
保健学研究科 Graduate School of Health Sciences	博士前期 Master's Course	10	2	11	13	2	6	8
	博士後期 Doctoral Course	3	1	3	4	1	2	3

6.外国人留学生状況 Number of International Students

令和5年5月1日現在 (as of May 1, 2023)

研究科 Graduate School	1年 First		2年 Second		3年 Third		4年 Fourth		5年 Fifth		6年 Sixth		合計 Total	
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
医学科 School of Medicine	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
保健学科 School of Health Sciences	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
医学研究科 Graduate School of Medicine	修士 Master's Course	1	1	0	0								1	1
	博士 Doctoral Course	2		0		1	0	0	0				3	0
保健学研究科 Graduate School of Health Sciences	博士前期 Master's Course	0		2	0	1	0	0	0				1	0
	博士後期 Doctoral Course	1	0	0	0	1	0						2	1
		1		1		1							3	

注 () は国費留学生で内数 Note: The number of Japanese Government Scholarship Students is indicated in parentheses.

10 卒後の主な就職先

Main places of employment

医学科(臨床研修) School of Medicine (Clinical training)

(沖縄県内) 琉球大学病院、各県立病院、那覇市立病院、浦添総合病院、沖縄赤十字病院、友愛医療センター、ハートライフ病院、中頭病院、中部徳洲会病院、他
(県外) 九州大学病院、東北大学病院、神戸大学医学部附属病院、東京女子医科大学附属八千代医療センター、和歌山県立医科大学附属病院、兵庫県立淡路医療センター、兵庫県立尼崎総合医療センター、JA茨城厚生連総合病院水戸協同病院

保健学科 School of Health Sciences

(沖縄県内) 琉球大学病院、各県立病院、沖縄県、浦添総合病院、友愛医療センター、中頭病院、沖縄協同病院、ハートライフ病院、他
(県外) 国立病院機構、千葉大学病院、北里大学病院、名古屋市立大学病院、湘南鎌倉総合病院、北海道総合在宅ケア事業団、株式会社ビー・エム・エル、他

医学研究科 Graduate School of Medicine

(沖縄県内) 琉球大学、琉球大学病院、沖縄県庁、大浜第一病院、琉生病院、いずみ病院、他
(県外) 株式会社つくばウエルネスリサーチ、他

保健学研究科 Graduate School of Health Sciences

(沖縄県内) 琉球大学病院、他

11 解剖体

Autopsies for Gross Anatomy

区分 Classification	収集数 Number of Cadavers Gathered	解剖数 Number of Autopsies	実習時間 Practical Period	備考
平成29年度 (2017)	58	4 3 29	29. 4.17 ~ 29. 7.28 29. 7. 3 ~ 29. 7.28 29. 9.27 ~ 29.12.25	解剖学実習(M2・学士) 臨床自由選択人体解剖学 解剖学実習(M1)
平成30年度 (2018)	36	2 6 29	30. 4.16 ~ 30. 8. 8 30. 7. 2 ~ 30. 8. 8 30. 9.28 ~ 30. 3. 2	解剖学実習(M2・学士) 臨床自由選択人体解剖学(M6) 解剖学実習(M1)
令和元年度 (2019)	44	3 6 29	31. 4. 8 ~ 元. 8.20 元. 7. 1 ~ 元. 8. 2 元. 7.17 ~ 2. 3. 1	解剖学実習(M2・学士) 臨床自由選択人体解剖学(M6) 解剖学実習(M1)
令和2年度 (2020)	38	2 6 28	2. 4.10 ~ 2. 8.24 2. 7. 6 ~ 2. 7.29 2. 9.23 ~ 2.12.21	解剖学実習(M2・学士) 臨床自由選択人体解剖学(M6) 解剖学実習(M1)
令和3年度 (2021)	33	2 6 28	3. 4. 9 ~ 3. 8.12 3. 7. 5 ~ 3. 7.30 3. 9.22 ~ 3.12.24	解剖学実習(M2・学士) 臨床自由選択人体解剖学(M6) 解剖学実習(M1)
令和4年度 (2022)	37	2 6 28	4. 5.11 ~ 4. 8.26 4. 7. 4 ~ 4. 7.29 4. 9.21 ~ 4.12.23	解剖学実習(M2・学士) 臨床自由選択人体解剖学(M6) 解剖学実習(M1)

13 琉球大学大学院医学研究科・医学部各講座等主要研究

Outline of Main Research Projects

大学院医学研究科 Graduate School of Medicine

医学専攻(博士課程) Medicine (Doctoral Program)

講座	教授名	主要研究概要
システム生理学 Systems Physiology	宮里 実 MIYAZATO Minoru	神経科学、神経生理学、排尿学、疼痛学、行動科学、行動薬理 Neuroscience, Neurophysiology, Urination, Pain, Behavioral Science, Behavioral Pharmacology
放射線診断治療学 Radiology	西江 昭弘 NISHIE Akihiro	腹部画像診断学、放射線診断学、コンピュータX線画像 Abdominal Radiology, Diagnostic Radiology, Computed Radiography
脳神経外科学 Neurosurgery	石内 勝吾 ISHIUCHI Shogo	脳神経外科、脳腫瘍・頭蓋底外科、小児脳腫瘍外科 Neurosurgery, Brain Tumor・Skull Base Surgery, Pediatric Neuro-oncology
眼科学 Ophthalmology	古泉 英貴 KOIZUMI Hideki	黄斑疾患、網膜硝子体疾患、緑内障 Macular Disease, Vitreoretinal Disease, Glaucoma
育成医学 Child Health and Welfare	中西 浩一 NAKANISHI Koichi	小児科学、小児腎臓病、遺伝性腎疾患 Pediatrics, Pediatric Nephrology, Hereditary Kidney Disease
耳鼻咽喉・頭頸部外科学 Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery	鈴木 幹男 SUZUKI Mikio	側頭骨外科、人工内耳手術、頭頸部腫瘍外科、鼻副鼻腔内視鏡手術神経耳科 Temporal Bone Surgery, Cochlear Implant, Head and Neck Surgery, Endoscopic Sinonasal Surgery, and Neuro-otology
精神病態医学 Neuropsychiatry	近藤 毅 KONDO Tsuyoshi	精神薬理学、臨床心理学、精神病理学、予防精神医学、睡眠医学 Psychopharmacology, Clinical psychology, Psychopathology, Preventive Psychiatry, Sleep Medicine
再生医学 Regenerative Medicine	野口 洋文 NOGUCHI Hirofumi	再生医学、細胞治療 Regenerative Medicine, Cell Therapy
先進ゲノム検査医学 Advanced Genomic and Laboratory Medicine	前田 士郎 MAEDA Shiro	集団遺伝学、疾患感受性遺伝子研究 Population Genetics, Genetic Study for Common Disease Susceptibility
分子解剖学 Molecular Anatomy	高山 千利 TAKAYAMA Chitoshi	神経解剖学、神経生物学、発生学 Neuroanatomy, Neurobiology, Embryology
ゲノム医学 Medical Genomics	小田 高也 (准教授) ODA Takaya (Assoc.Prof)	ヒトゲノム反復配列の分子生物学的研究 Molecular biological research for the repetitive elements of the human genome
人体解剖学 Human Biology and Anatomy	木村 亮介 KIMURA Ryosuke	形質人類学、人類遺伝学、肉眼解剖学、発生生物学 Physical Anthropology, Human Genetics, Gross Anatomy, Developmental Biology
分子・細胞生理学 Molecular and Cellular Physiology	松下 正之 MATSUSHITA Masayuki	分子生理学・細胞生理学 Molecular and Cellular Physiology
薬理学 Pharmacology	筒井 正人 TSUTSUI Masato	一酸化窒素、活性硫黄、食物アレルギー、内科学、循環器病学、薬理学 Nitric Oxide, Reactive Sulfur, Food Allergy, Internal Medicine, Cardiology, Pharmacology
胸部心臓血管外科学 Thoracic and Cardiovascular Surgery	古川 浩二郎 FURUKAWA Kojiro	心臓血管外科学、呼吸器外科学、一般外科学、人工臓器 Cardiovascular Surgery, General Thoracic Surgery, General Surgery, Artificial Organ
麻酔科学 Anesthesiology	垣花 学 KAKINOHANA Manabu	呼吸不全、脳・脊髄循環及び代謝、集中治療医学、疼痛管理学 Respiratory Failure, Cerebrospinal Circulation and Metabolism, Intensive Care Medicine, Pain Clinic

12 図書・学術雑誌

Collection of Books and Journals

(医学部分館 令和5年4月1日現在) (as of April 2023)

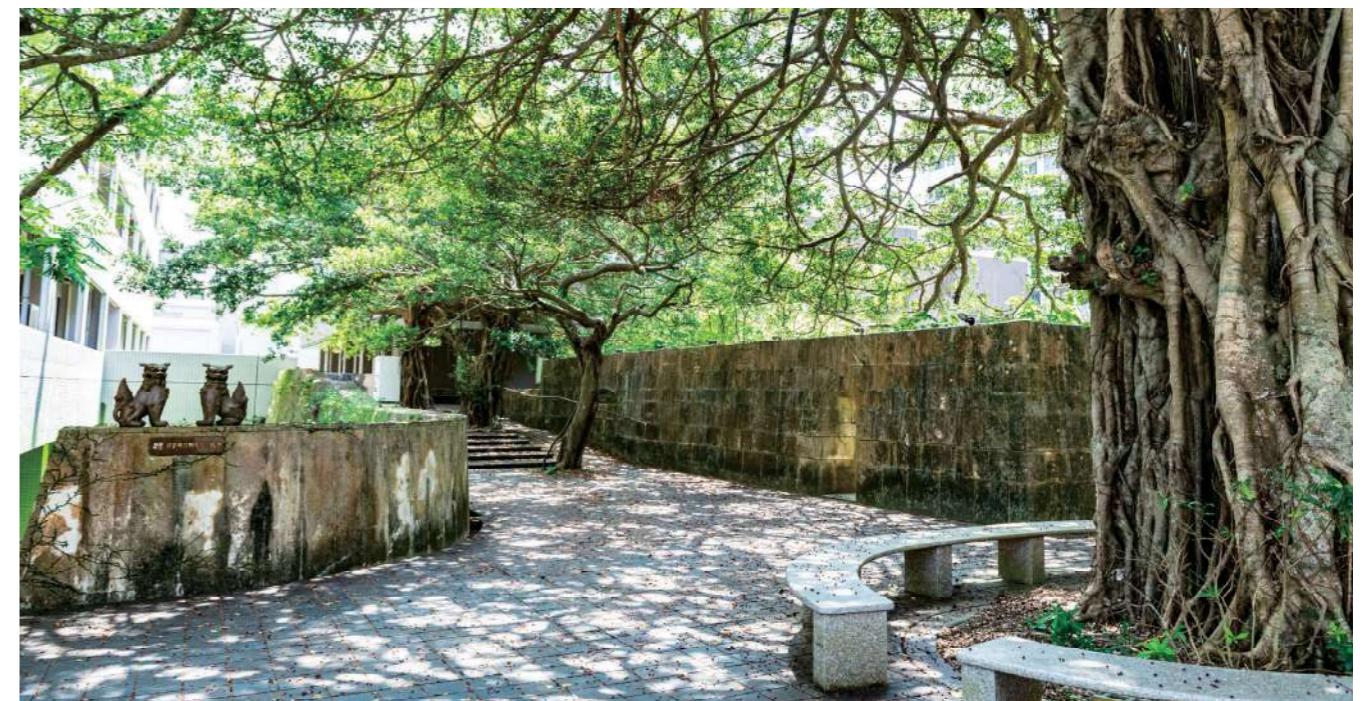
区分 Classification	図書 Books	学術雑誌 Journals
和書 Japanese	57,629冊	2,244種
洋書 Foreign	42,269冊	1,443種
合計 Total	99,898冊	3,687種

医学専攻(博士課程) Medicine (Doctoral Program)

講座	教授名	主要研究概要
整形外科学 Orthopedic Surgery	西田 康太郎 NISHIDA Kotaro	整形外科学、脊椎外科学、骨軟部腫瘍学、関節外科学、手外科学、小児整形外科学、関節リウマチ学、リハビリテーション医学、スポーツ医学、マイクロ手術、内視鏡手術、外傷学、再建外科学 Orthopedic Surgery, Spine Surgery, Bone & Soft Tissue Tumor, Joint Surgery, Hand Surgery, Pediatric Orthopedic Surgery, Rheumatology, Rehabilitation Medicine, Sport Medicine, Micro Surgery, Endoscopic Surgery, Traumatology, Reconstructive Surgery
形成外科学 Plastic and Reconstructive Surgery	清水 雄介 SHIMIZU Yusuke	形成外科学、再建外科学、マイクロサージャリー、眼形成外科、先天異常学、幹細胞生物学 Plastic Surgery, Reconstructive Surgery, Micro Surgery, Ophthalmic Plastic Surgery, teratology, Stem cell biology
腎泌尿器外科学 Urology	齋藤 誠一 SAITO Seichi	泌尿生殖器系癌、ロボット支援下腹腔鏡手術、腹腔鏡手術、排尿機能、小児泌尿器科、腎移植、尿路結石および尿路感染症、骨盤臓器脱、糖鎖生物学、腫瘍マーカー Genitourinary Cancer, Robot-assisted Laparoscopic Surgery, Laparoscopic Surgery, Urinary Function, Pediatric Urology, Renal Transplantation, Urolithiasis & Urinary Tract Infection, Pelvic Organ Prolapse, Glycobiology, Tumor marker
顎顔面口腔機能再建学 Oral and Maxillofacial Functional Rehabilitation	中村 博幸 NAKAMURA Hiroyuki	口腔外科学、口腔科学、口腔腫瘍生物学、社会歯学、再生歯学 Oral surgery, Oral science, Oral tumor biology, Social dentistry, Regenerative dentistry
救急医学 Emergency and Critical Care Medicine	梅村 武寛 UMEMURA Takehiro	救急医学、救命救急医学、外傷学、中毒学、災害医学、遠隔医療学 Emergency Medicine, Critical Care Medicine, Traumatology, Toxicology, Disaster Medicine, Telemedicine
臨床薬理学 Clinical Pharmacology and Therapeutics	植田 真一郎 UEDA Shin-ichiro	心血管臨床薬理学、心血管内分泌代謝学、一般内科治療学、EBMと臨床試験 Cardiovascular Clinical Pharmacology and Therapeutics, Cardiovascular Endocrinology and Meta-bolism, General Medicine, Evidence Based Medicine and Clinical Trial
薬物治療学(協力) Pharmacotherapy	中村 克徳 NAKAMURA Katsunori	薬物代謝学、薬理遺伝学 Drug metabolism, Pharmacogenetics
医化学 Medical Biochemistry	鈴木 健夫 SUZUKI Takeo	分子生物学、ケミカルバイオロジー、遺伝子工学、分子遺伝学 Molecular Biology, Chemical Biology, Genetic Engineering, Molecular Genetic
生化学 Biochemistry	黒柳 秀人 KUROYANAGI Hidehito	遺伝子発現制御機構の解明などの基礎研究およびその破綻に起因する疾患の病態発現機序の解明と治療法の開発 Basic research on regulation of eukaryotic gene expression and disease models caused by mutations in gene expression machinery.
腫瘍病理学 Pathology and Oncology	和田 直樹 WADA Naoki	腫瘍の臨床病理学的解析および幹細胞的性格を有する細胞群に関する研究 Clinicopathological analysis of tumors and study on the subpopulation with stem cell character
細胞病理学 Pathology and Cell Biology		造血器腫瘍の臨床病理学的解析、分子遺伝学的解析 Clinico-Pathological and molecular analysis of hematopoietic tumors
衛生学・公衆衛生学 Public Health and Hygiene	中村 幸志 NAKAMURA Koshi	疫学、生活習慣病(循環器領域)予防、健康増進 Epidemiology, Prevention of Lifestyle-related Disease (e.g., Cardiovascular and Metabolic Disease), Health Promotion
法医学 Legal Medicine	二宮 賢司 NINOMIYA Kenji	法医病理学、法医中毒学 Forensic Pathology, Forensic Toxicology
内分泌代謝・血液・膠原病内科学 Internal Medicine, Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology, Rheumatology	益崎 裕章 MASUZAKI Hiroaki	内科学、内分泌・代謝病学、糖尿病学、血液病学、膠原病・リウマチ学 Internal Medicine, Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology, Rheumatology
循環器・腎臓・神経内科学 Cardiovascular Medicine, Nephrology and Neurology	石田 明夫(准教授) ISHIDA Akio (Assoc.Prof)	内科学、循環器病学、腎臓病学、高血圧学、神経病学、脳卒中学、臨床疫学 Internal Medicine, Cardiology, Nephrology, Hypertension, Neurology, Strokeology, Clinical Epidemiology
消化器・腫瘍外科学 Digestive and General Surgery	高槻 光寿 TAKATSUKI Mitsuhsa	一般外科学、消化器外科学、乳腺内分泌外科学、小児外科学 General Surgery, Gastroenterological Surgery, Breast and Endocrine Surgery, Pediatric Surgery
女性・生殖医学 Medical Science of Women and Reproduction		婦人科腫瘍学、生殖医学、周産期医学、婦人科手術学、内視鏡下手術 Gynecologic Oncology, Reproductive Medicine, Perinatal Medicine, Gynecologic Surgery, Endoscopic Surgery

医学専攻(博士課程) Medicine (Doctoral Program)

講座	教授名	主要研究概要
微生物学・腫瘍学 Microbiology and Oncology	森 直樹 MORI Naoki	ウイルスおよび細菌関連腫瘍における発がん機構の解析とその予防・治療法の開発 Analysis of Mechanisms for Viral and Bacterial Pathogens-associated Carcinogenesis, and Development of Novel Molecular-targeted Prevention and Therapy of Malignancy
細菌学 Bacteriology	山城 哲 YAMASHIRO Tetsu	病原細菌における病原因子の解明・制御に関する研究および疫学的研究 Studies on pathogenesis and epidemiology and control of bacteria causing tropical diseases.
免疫学・寄生虫学 Immunology and Parasitology	岸本 英博 KISHIMOTO Hidehiro	寄生虫及び感染症の免疫学的、分子生物学的研究 Immunological research for Parasites infection and infectious diseases
皮膚科学 Dermatology	高橋 健造 TAKAHASHI Kenzo	皮膚科学、皮膚腫瘍学、皮膚老化、角化症、琉球地方の皮膚病 Dermatology, Skin Cancer, Skin aging, Genodermatosis, Skin diseases of the Ryukyus
先進医療創成科学 Investigative Medicine	山下 暁朗 YAMASHITA Akio	mRNA転写後の遺伝子発現制御を標的とした、がんや炎症性疾患を含む様々な病気の分子機構解明と治療薬開発 We are studying disease related post-transcriptional event of gene expression mechanisms.
感染症・呼吸器・消化器内科学 Infectious, Respiratory and Digestive Medicine	山本 和子 YAMAMOTO Kazuko	感染症学、呼吸器病学、消化器病学、化学療法学、臨床微生物学 Infectious Diseases, Respiratory Diseases, Digestive Diseases, Chemotherapy, Clinical Microbiology
生体防御学(協力) Host Defense	松崎 吾朗 MATSUZAKI Goro	結核などの細菌感染症に対する防御免疫機構の解明 Protective Immunity and its Regulation against Infections of Mycobacteria and Other Bacteria
感染免疫制御学(協力) Vaccine Research and Development	新川 武 ARAKAWA Takeshi	組換えタンパク質性感染症ワクチン開発(主に豚・鶏等の家畜動物、養殖魚、伴侶動物対象) Recombinant vaccine development against infectious diseases of animals and fishes
ウイルス学 Virology	大野 真治 OHNO Shinji	ウイルス宿主間相互作用、ワクチン開発、ウイルス疫学 Virus-Host Interaction, Vaccine Development, and Viral Epidemiology
臨床研究教育管理学 Clinical Research and Quality Manage	植田 真一郎 UEDA Shin-ichiro	臨床研究のデザイン・データ管理・解析・品質管理 Study design, Data management, Biostatistics and Quality management for Investigator-initiated Clinical Research



医学部保健学科 School of Health Sciences in Faculty of Medicine

基礎看護学 Department of Fundamental Nursing

分野	教授名	主要研究概要
基礎看護学 Fundamental Nursing	豊里 竹彦 TOYOSATO Takehiko	基礎看護学、看護教育 Fundamental Nursing, Nursing Education
疫学・健康教育学 Epidemiology and Health Promotion	高倉 実 TAKAKURA Minoru	学校保健学、社会疫学、行動疫学、健康教育学 School Health, Public Health, Social Epidemiology, Behavioral Epidemiology, Health Promotion and Education
生物統計学 Biostatistics	米本 孝二 YONEMOTO Koji	生物統計学 Biostatistics

成人・老年看護学 Department of Adult and Gerontological Nursing

分野	教授名	主要研究概要
成人・がん看護学 Adult Health and Cancer Nursing	照屋 典子 TERUYA Noriko	成人看護学、がん看護学、緩和ケア Adult Health Nursing, Cancer Nursing, Palliative Care
在宅・慢性期看護学 Home Care and Chronic Care Nursing	関口 浩至(准教授) SEKIGUCHI Hiroshi (Assoc.Prof.)	主に慢性呼吸器疾患看護に関わる在宅・慢性期看護各領域の調査・研究を進めており、テキストマイニング分析にも取り組んでいます。 We are conducting research in home care and chronic care nursing area, which is mainly related to nursing for chronic respiratory diseases, and we are also researching on text mining analysis.
老年看護学 Gerontological Nursing		老年看護学 Gerontological Nursing

母子看護学 Department of Maternal and Child Nursing

分野	教授名	主要研究概要
母性看護・助産学 Maternal Nursing and Midwifery	遠藤 由美子 ENDOY Yumiko	母性看護学、助産学 Maternity Nursing, Midwifery
小児看護学 Child Health Nursing		小児看護学、母子看護学 Child Health Nursing, Maternal and Child Health Nursing
国際地域保健学 Global Health	小林 潤 KOBAYASHI Jun	国際保健学 Global Health

地域看護学 Department of Community Health Nursing

分野	教授名	主要研究概要
地域看護学 Community Health Nursing	當山 裕子(准教授) TOYAMA Yuko (Assoc.Prof.)	公衆衛生看護学、地域看護学 Public Health Nursing, Community Health Nursing
精神看護学 Mental Health Nursing	與古田 孝夫 YOKOTA Takao	精神看護学、精神保健学 Mental Health Nursing, Mental Health
臨床心理・学校保健学 Clinical Psychology and School Health	和氣 則江(講師) WAKE Norie (Instructor)	臨床心理学、学校保健学 Clinical Psychology, School Health

生体検査学 Department of Basic Laboratory Sciences

分野	教授名	主要研究概要
生体代謝学 Biometabolic Chemistry	原嶋 奈々江 HARASHIMA Nanae	生化学、分子細胞生物学、腫瘍免疫学 Biochemistry, Tumor Immunology
分子遺伝学 Molecular Genetics	中尾 浩史 NAKAO Hiroshi	分子遺伝学、細菌学、薬物代謝、薬草の抗酸化作用 Molecular Genetics, Bacteriology, Drug Metabolism, Antioxidant Action of Medicinal Herbs
形態病理学 Morphological Pathology	金城 貴夫 KINJO Takao	病理学、臨床細胞学、実験病理学、沖縄県の感染症の病理学的及び分子生物学的解析 Pathology, Clinical Cytology, Experimental Pathology, Molecular and Pathological Analysis of Infectious Diseases in Okinawa

医学部保健学科 School of Health Sciences in Faculty of Medicine

病態検査学 Department of Clinical Laboratory Sciences

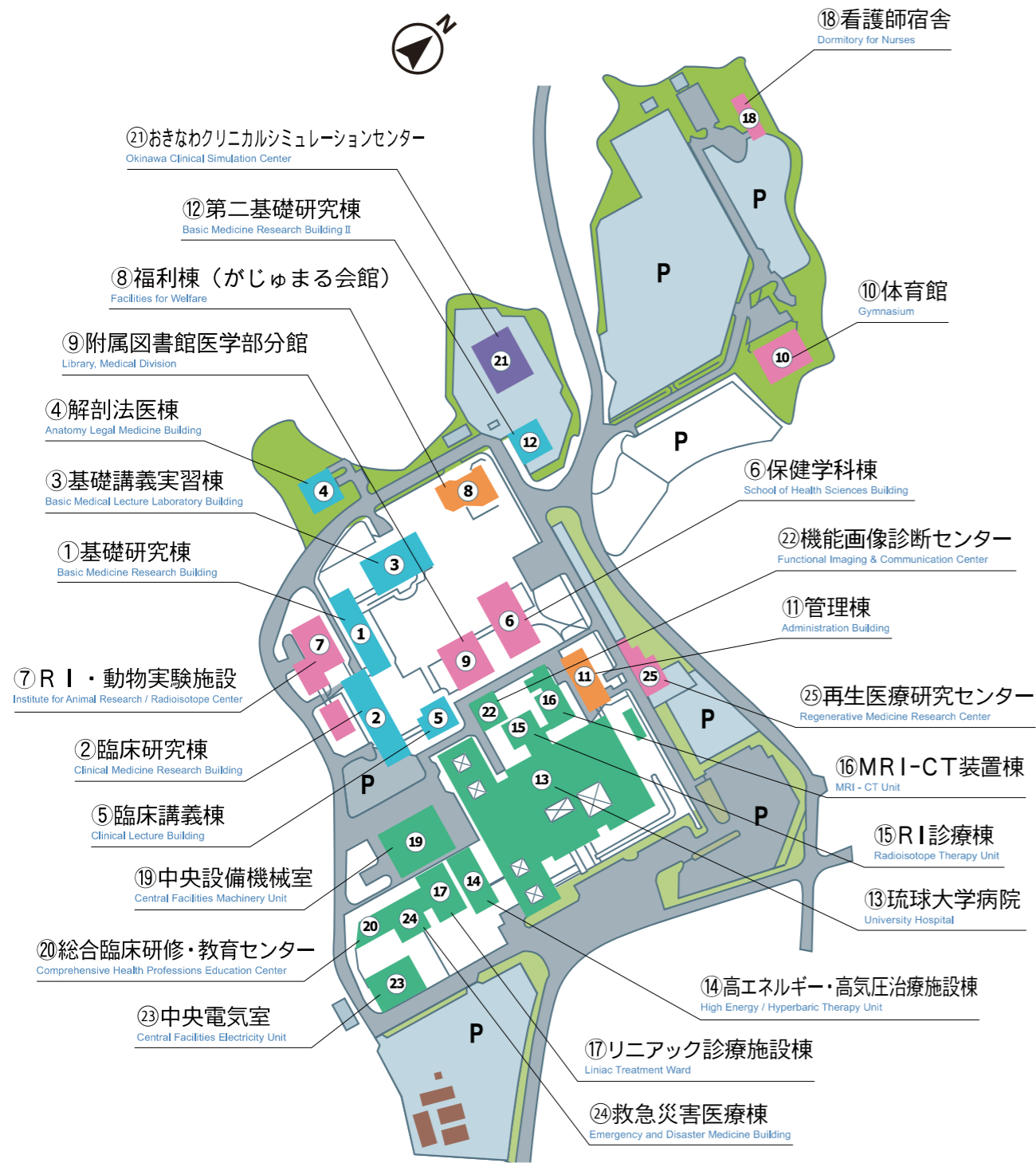
分野	教授名	主要研究概要
病原体検査学 Microbiology	平井 到 HIRAI Itaru	微生物学、腸内細菌学 Microbiology, Intestinal Bacteriology
生理機能検査学 Clinical Physiology	粟田 久多佳 AWATA Hisataka	腎臓病学、生理機能検査学 Nephrology Clinical Physiology
血液免疫検査学 Hematoimmunology	福島 卓也 FUKUSHIMA Takuya	血液学、成人T細胞白血病・リンパ腫の臨床研究及び分子生物学的研究 Hematology, Clinical Study and molecular biology of adult T-cell leukemia-lymphoma

先端医学研究センター Advanced Medical Research Center

分野	教授名	主要研究概要
共通機器・RI研究支援分野 Division of Shared Equipment and RI Research Support	岸本 英博 KISHIMOTO Hidehiro	分子細胞生物学、生化学、病理学、医療情報学 Molecular Cell Biology, Biochemistry, Pathology, Medical Informatics
マルチオミクス解析支援分野 Multiomics Facility Core	鈴木 健夫 SUZUKI Takeo	ケミカルバイオロジー、システム生物学、分子生物学 Chemical Biology, Systems Biology, Molecular Biology
動物実験支援分野 Division of Experimental Animal Research	高山 千利 TAKAYAMA Chitoshi	発生遺伝学、マウス発生工学 Developmental Genetics, Mouse Genetic Engineering
臨床研究総合支援分野 Ryukyuu Clinical Research Unit	植田 真一郎 UEDA Shin-ichiro	臨床研究立案、計画作成、実施支援、データ管理、解析、品質管理、文書作成、臨床研究トレーニング、教育プログラム作成 Support for Clinical Research Planning, Protocol Development, Conducting, Data Management & Analysis, Quality Management & Assurance, Medical Writing, Clinical Research Training, Development of Education Program
生物統計支援分野 Division of Biostatistics	米本 孝二 YONEMOTO Koji	生物統計学 Biostatistics
バイオバンク分野 Division of Bio Bank	前田 士郎 MAEDA Shiro	沖縄バイオインフォメーションバンク構築、生活習慣病関連ゲノム研究、標準ゲノム配列情報整備 Construction of Okinawa Bio Information Bank, Genetic Study for Life-style Related Diseases, Preparation of The Reference Panel Sequence for The Okinawa Population
再生医療分野 Division of Regenerative Medicine	野口 洋文 NOGUCHI Hirofumi	再生医療、細胞治療 Regenerative Medicine, Cell Therapy
感染症分野 Infectious Diseases Research Unit	山城 哲 YAMASHIRO Tetsu	感染症における、病原性解明に関する研究、疫学的研究、及び創薬・診断キット開発に関する研究 Researches on pathogenicity, epidemiology, and development of therapeutic molecules and diagnostics devices for infectious diseases.
メディカルDX・医工連携分野 Division of Medical Digital Transformation and Medical Engineering	横田 秀夫 YOKOTA Hideo	医工学、デジタルトランスフォーメーション、人工知能 Medical Digital Transformation, Medical Engineering, AI
ブレイン・ヘルスケア学講座(寄附講座) Department of Brain Healthcare	石内 勝吾 ISHIUCHI Shogo	健康長寿学、ブレイン・ヘルスケア、脳科学 Healthy Longevity Science, Brain Healthcare, Brain Science

医学教育企画室 Office of Medical Education

施設	教授名	主要研究概要
医学教育企画室 Office of Medical Education	宮里 実 MIYAZATO Minoru	医学教育学 Medical Education Studies



土地及び建物 Site and Floorage of the Buildings

面積 Area	敷地面積	Site	138,175㎡
	建物総面積	Total Floorage	98,323㎡

建設年度 Year of Construction

名称 Name	建面積 Floorage	延面積 Total Floorage	建設年度 Year of Construction
①基礎研究棟 Basic Medicine Research Building	962 m ²	7,931 m ²	昭和58年 1983
②臨床研究棟 Clinical Medicine Research Building	1,046 m ²	8,436 m ²	昭和59年 1984
③基礎講義実習棟 Basic Medical Lecture Laboratory Building	1,107 m ²	3,074 m ²	昭和57年 1982
④解剖法医棟 Anatomy / Legal Medicine Building	577 m ²	1,142 m ²	昭和57年 1982
⑤臨床講義棟 Clinical Lecture Building	609 m ²	1,240 m ²	昭和58年 1983
⑥保健学科棟 School of Health Sciences Building	1,143 m ²	6,252 m ²	昭和58年 1983
⑦RI・動物実験施設 Institute for Animal Research / Radioisotope Center	1,395 m ²	3,961 m ²	昭和58年 1983
⑧福利棟(がじゅまる会館) Facilities for Welfare	990 m ²	1,687 m ²	昭和58年 1983
⑨附属図書館医学部分館 Library, Medical Division	761 m ²	1,403 m ²	昭和59年 1984
⑩体育館 Gymnasium	1,247 m ²	1,063 m ²	昭和60年 1985
⑪管理棟 Administration Building	741 m ²	1,967 m ²	昭和59年 1984
⑫第二基礎研究棟 Basic Medicine Research Building II	473 m ²	829 m ²	平成2年 1990
⑬琉球大学病院 University Hospital	8,233 m ²	40,386 m ²	昭和59年 1984
⑭高エネルギー・高気圧治療施設棟 High Energy / Hyperbaric Therapy Unit	734 m ²	821 m ²	昭和59年 1984
⑮RI診療棟 Radioisotope Therapy Unit	338 m ²	624 m ²	昭和62年 1987
⑯MRI-CT装置棟 MRI - CT Unit	705 m ²	709 m ²	平成3年 1991
⑰リニアク診療施設棟 Liniac Treatment Ward	294 m ²	293 m ²	平成元年 1989
⑱看護師宿舎 Dormitory for Nurses	316 m ²	1,384 m ²	昭和59年 1984
⑲中央設備機械室 Central Facilities / Machinery Unit	1,287 m ²	1,647 m ²	昭和58年 1983
⑳総合臨床研修・教育センター Comprehensive Health Professions Education Center	697 m ²	1,284 m ²	平成24年 2012
㉑おきなわクリニカルシミュレーションセンター Okinawa Clinical Simulation Center	878 m ²	2,288 m ²	平成24年 2012
㉒機能画像診断センター Functional Imaging & Communication Center	507 m ²	1,952 m ²	平成25年 2013
㉓中央電気室 Central Facilities / Electricity Unit	439 m ²	611 m ²	平成25年 2013
㉔救急災害医療棟 Emergency and Disaster Medicine Building	742 m ²	680 m ²	平成26年 2014
㉕再生医療研究センター Regenerative Medicine Research Center	554 m ²	812 m ²	平成27年 2015
㉖駐車場、その他 Parking Place, Others	3,539 m ²	5,847 m ²	
面積計 Floorage	30,314 m ²	98,323 m ²	